東証PRM
2875

2027年3月期 第２四半期（中間期）

決算説明会資料

2026年11月4日

東洋水産株式会社

目 次

01 2027年3月期　第２四半期連結業績 …… P.3

02 2027年3月期　通期連結業績予想 …… P.7

02-1 国内事業（国内即席麺・低温食品事業） …… P.12

02-2 海外即席麺事業 …… P.21

03 これまでの全体概況と今後の方針 …… P.31

04 参考資料 …… P.44

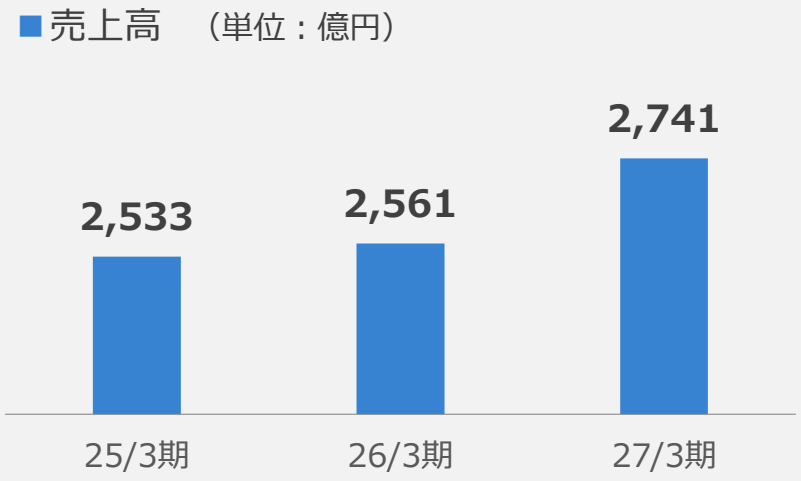
COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

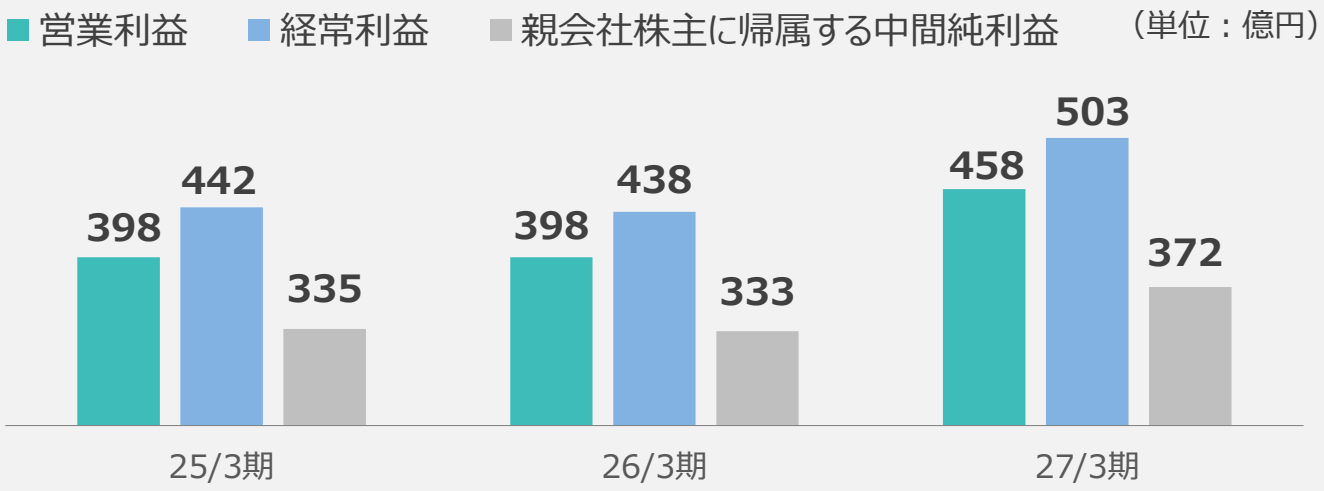
2027年3月期

01 第2四半期 連結業績

2027年3月期 第２四半期　連結業績

（単位：億円）	26/3期	27/3期	前期差	前期比	公表差	公表比
売上高	2,561	2,741	+180	107.0%	△4	99.8%
営業利益	398	458	+60	115.2%	+38	109.1%
営業利益率	15.5%	16.7%				
経常利益	438	503	+65	114.9%	+49	110.8%
親会社株主に帰属する中間純利益	333	372	+39	111.5%	+36	110.6%
為替レート（米ドル/円）	146.04	159.38				150.00





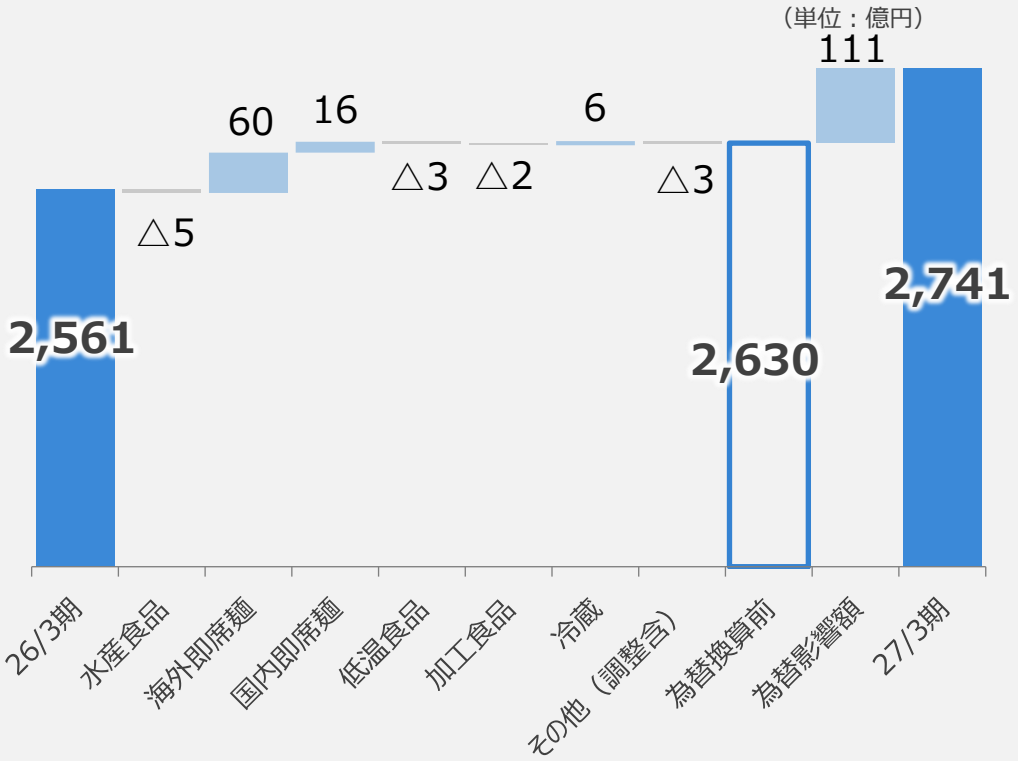
COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期 第２四半期　連結業績の概況（前期比）

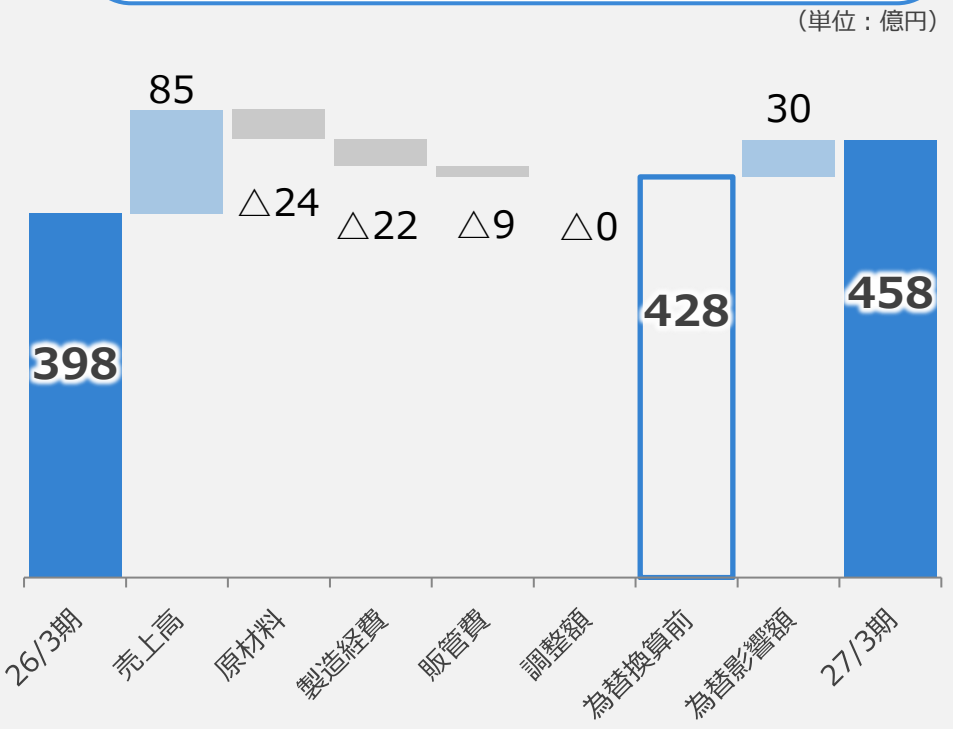
売上高　▶ 国内外事業の価格改定効果などにより、中間期の過去最高売上高を更新

営業利益 ▶ 価格改定効果によりコストアップを吸収し、中間期の過去最高益を達成

セグメント別　売上高増減



連結　営業利益増減要因



※為替レート（米ドル/円）　26/3期実績 146.04円　27/3期実績 159.38円　前期比 13.34円の円安

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期 第２四半期　セグメント別　売上高・営業利益の概況

TOYO SUISAN

売上高

（単位：億円）	26/3期	27/3期	前期差	公表差
連結売上高	2,561	**2,741**	+180	△4
水産食品事業	158	**153**	△5	△10
海外即席麺事業 （百万ドル）	1,158 793	**1,329** **834**	+171 +41	+24 △36
国内即席麺事業	463	**479**	+16	+7
低温食品事業	325	**322**	△3	△12
加工食品事業	108	**106**	△2	△10
冷蔵事業	135	**141**	+6	+5
その他事業	214	**211**	△3	△8
(為替影響額)			(+111)	(+78)

営業利益

（単位：億円）	26/3期	27/3期	前期差	公表差
連結営業利益	398	**458**	+60	+38
水産食品事業	9	**9**	0	△1
海外即席麺事業 （百万ドル）	289 198	**357** **224**	+68 +26	+44 +16
国内即席麺事業	37	**38**	+1	+1
低温食品事業	48	**32**	△16	△7
加工食品事業	△6	**△0**	+5	+2
冷蔵事業	16	**19**	+3	+4
その他事業	9	**8**	△1	△5
調整額	△4	**△5**	△0	0
(為替影響額)			(+30)	(+21)

※為替レート（米ドル/円）

26/3期 実績 146.04円
27/3期 期初予想 150.00円　27/3期実績 159.38円　（前期比 13.34円の円安　期初予想比 9.38円の円安）

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期

02 通期連結業績予想

2027年3月期　通期連結業績予想

（単位：億円）	26/3期実績	売上高比率	27/3期予想	売上高比率	前期比
売上高	5,366	100.0%	**5,600**	100.0%	**104.4%**
営業利益	858	16.0%	**820**	14.6%	**95.6%**
営業外損益	83	1.5%	**65**	1.2%	
経常利益	941	17.5%	**885**	15.7%	**94.1%**
特別損益	2	0.0%	**0**	0.0%	
税金等調整前当期純利益	943	17.6%	**885**	15.7%	
法人税等	△238	△4.4%	**△227**	△4.0%	
当期純利益	705	13.1%	**658**	11.7%	
親会社株主に帰属する当期純利益	702	13.1%	**656**	11.7%	**93.5%**
1株当たり配当	220円		**220円**		
為替レート（米ドル/円）	150.78		**159.00**		
設備投資額（支払ベース）	463	8.6%	**282**	5.0%	
減価償却費	183	3.4%	**207**	3.7%	
ＦＣＦ（注１）	422		**581**		
ＥＢＩＴＤＡ（注２）	1,041	19.4%	**1,027**	18.3%	

（注１）　FCF　＝　親会社株主に帰属する当期純利益　＋　減価償却費　－　設備投資額
（注２）　EBITDA　＝　営業利益　＋　減価償却費

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

中東情勢への対応について

期初予想公表時（2026年5月）に見込んでいたコストアップは、試算から大きな変更はなく、その影響および為替前提の変更を通期業績予想に織り込み

5月公表時 時点の見込み

包材等の原材料、動力費、
物流費等のコストアップ影響額は、
通期トータルで
80～100億円程度の試算

（1ドル150円前提）

通期業績見込みへは未反映でした

上期に顕在化したコストアップ

国内事業中心に**約20億円程度**が顕在化

	コストアップ計
■ **国内即席麺**	約12億円
■ **低温食品**	約5億円
その他国内事業計	約3億円
合計	**約20億円**

通期のコストアップ（見込み）

＜為替前提の変更を反映＞
下期では**約70億円から80億円程度**の
影響の見込み
（1ドル159円へ前提レート変更）

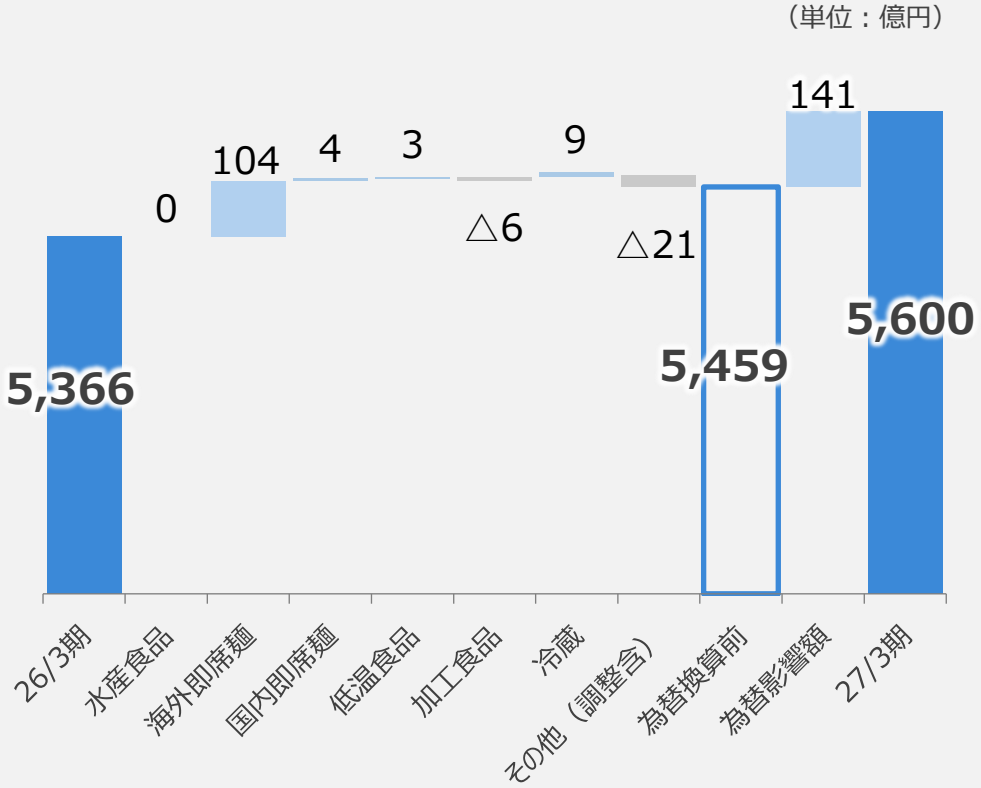
	コストアップ計
■ **国内即席麺**	約34億円
■ **低温食品**	約14億円
その他国内事業計	約16億円
■ **海外即席麺**	約30億円 (約19百万ドル)
合計	**約94億円**

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

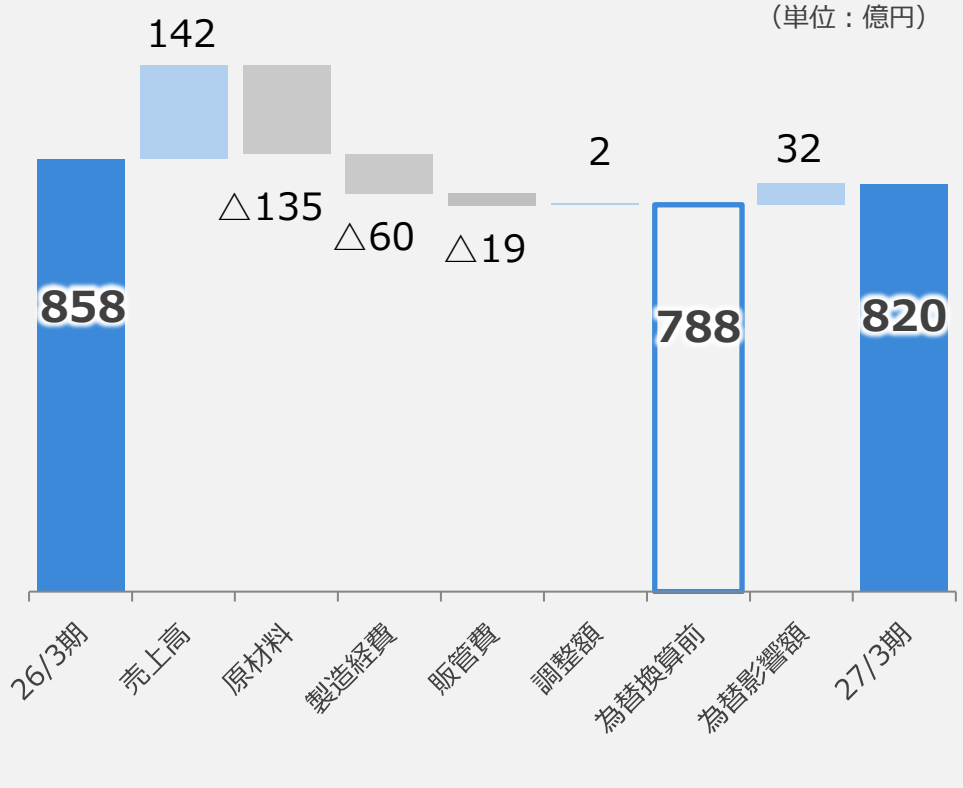
2027年3月期　通期連結業績の概況（前期比）

売上高　▶ 国内外の主力商品の販売強化、価格改定に取り組み、増収を目指す
営業利益 ▶ 中東情勢の影響による追加コストアップを織り込むが、各種対応により、計画達成を目指す

セグメント別　売上高増減



連結　営業利益増減要因



※為替レート（米ドル/円）　26/3期実績 150.78円、27/3期末予想 159.00円

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期通期　セグメント別売上高・営業利益の予想

（単位：億円）	売上高		営業利益	
	期初予想	修正予想	期初予想	修正予想
合　計	5,600	5,600	820	820
水産食品事業	333	327	16	18
海外即席麺事業	2,655	2,727	590	614
（百万ドル）	1,770	1,715	393	386
国内即席麺事業	1,055	1,048	106	85
低温食品事業	631	618	72	67
加工食品事業	246	228	2	3
冷蔵事業	267	272	30	34
その他事業	413	380	14	9
（調整額）		-	△10	△10

※為替レート（米ドル/円）　期初予想 150.00円、修正予想 159.00円

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

02-1　国内事業

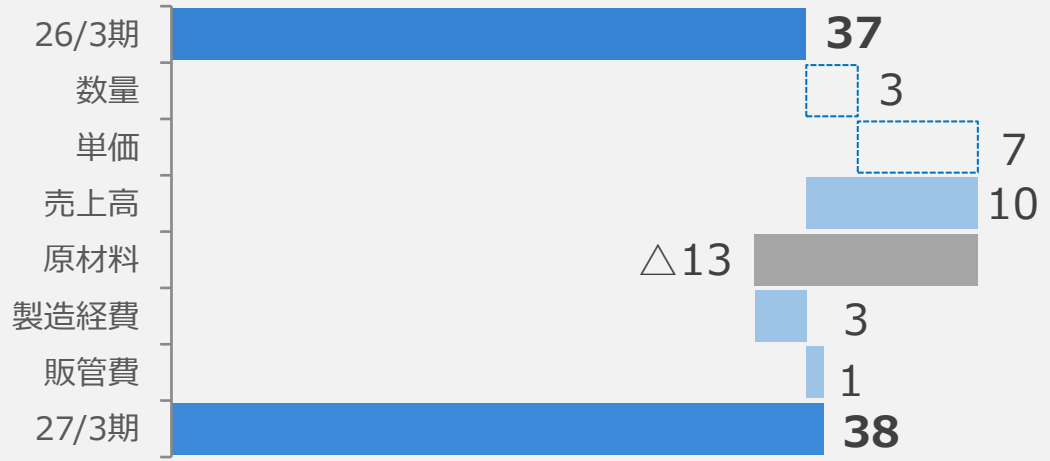
（国内即席麺・低温食品事業）

国内即席麺事業　第２四半期までの概況

売上高・営業利益の推移（単位：億円）

（単位：億円）	26/3期	1Q	2Q	27/3期	前期差
売上高	463	252	227	**479**	+16
前期比	102%	106%	100%	**103%**	–
袋麺	74	–	–	**81**	+7
カップ麺	389	–	–	**398**	+9
営業利益	37	24	14	**38**	+1
営業利益率	7.9%	9.6%	6.1%	**8.0%**	+0.1%

営業利益増減要因（単位：億円）



（単価効果と販売数量は、売上高による影響の内訳を示します）

	1Q	2Q	上期	期初予想との差
売上高	+5	+5	**+10**	0
原材料	△3	△10	**△13**	△5
製造経費	+1	+2	**+3**	+2
販管費	0	+1	**+1**	+4
合計	+3	△2	**+1**	+1

（原材料の“△”は、費用の増加による影響額を示します）

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

国内即席麺事業　第2四半期までの振り返り

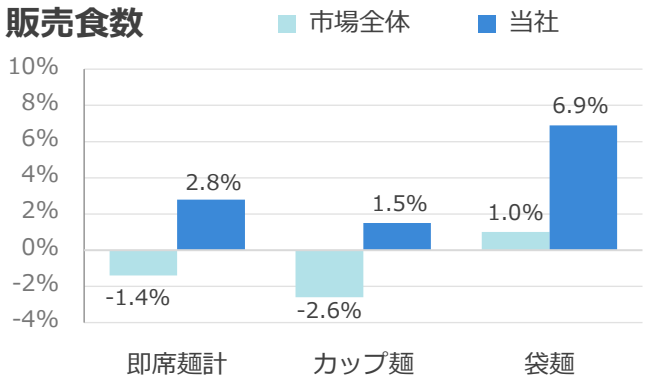
主力ブランドを軸とした幅広い商品提案により販売数量を確保

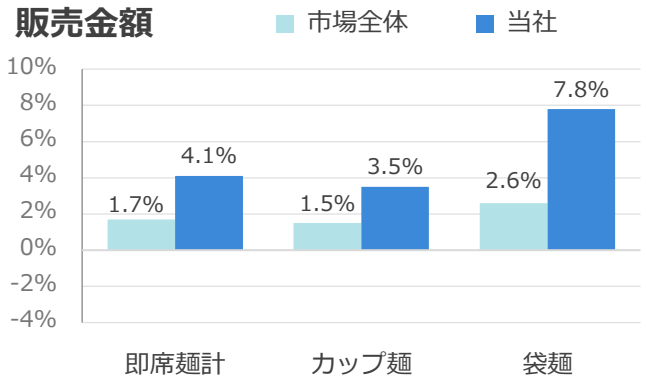
幅広い商品ラインナップを活用した販売促進

消費者動向の変化を捉え、中間価格帯の商品を中心に、
高価格帯・低価格帯の商品を組み合わせた提案を推進。
価格に見合う価値から割安感・お得感まで、多様なニーズに対応しました。
即席麺計の販売食数は、市場が前年同期比1.4%減に対し、当社は2.8%増。
カップ麺・袋麺ともに、販売食数・販売金額の伸び率が市場を上回りました。

市場と当社の販売動向

2026年4–9月／前年同期比増減率





出典：インテージSRI＋ 即席麺市場／全国SM・CVS・DRUG・HC
2026年4～9月　メーカー推計販売規模（容量・金額）

価格帯別の商品ラインナップ

高価格帯　価格に見合う価値



中間価格帯（主軸）　幅広い層に対応



低価格帯　割安感・お得感



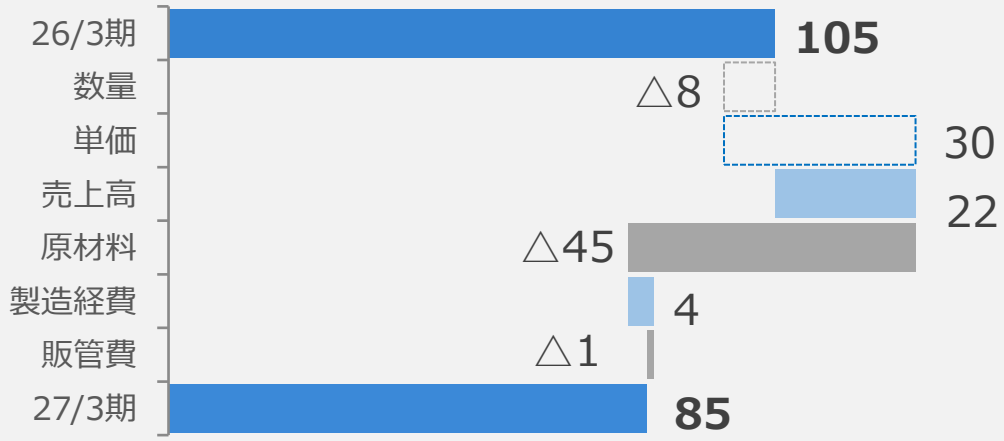
消費者ニーズに応じた商品提案により、売上・利益は前年を上回りました

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

国内即席麺事業　通期業績予想

（単位：億円）	26/3期	27/3期	前期差
売上高	1,044	**1,048**	+4
袋麺	170	**173**	+3
カップ麺	874	**875**	+1
営業利益	105	**85**	△20
営業利益率	10.0%	**8.1%**	△1.9%

営業利益増減要因（単位：億円）



（単価効果と販売数量は、売上高による影響の内訳を示します）

売上高

- カップ麺は、新価格の浸透に努めるとともに、主力和風麺シリーズを中心に更なるブランド強化を実施
- 袋麺は、発売15周年の「マルちゃん正麺」のリニューアルや「マルちゃんZUBAAAN!」の拡売で全体を底上げ
- 第4四半期は、2027年4月1日からの消費税減税を前に一時的な買い控えが生じることを想定

営業利益

- 原材料費は、輸入小麦の政府売り渡し価格の変更と、中東情勢の影響によるコストアップを織り込み、減益
- 製造経費は、関西工場の償却費負担の一巡と、中東情勢影響による動力費の高騰を織り込み、減益
- 販管費は、宣伝費は前期並みも、物流費の高騰を見込んでおり、減益

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

国内即席麺事業　下期の取り組み

主力ブランドの需要喚起による販売拡大

発売15周年を機に販売を強化

記念商品の発売やプロモーション展開を
通じて需要を喚起し、最需要期における
販売拡大を図ります。



15周年記念商品　2026年10月26日発売
豚だし醤油そば 5食パック
貝だし塩そば 5食パック







「だし」を切り口に販売を強化

商品企画と販促施策を連動させ、
「赤いきつね」「緑のたぬき」を含む
和風麺シリーズの販売を強化します。





2026年11月9日発売
赤い天ぷらそば
緑の天ぷらうどん





主力ブランドごとに購買を促進

新テレビCM、デジタル施策、消費者
キャンペーンを連動させ、ブランドへの
接触機会を増やし、購買を促進します。



商品・販促施策を強化し、販売拡大につなげます

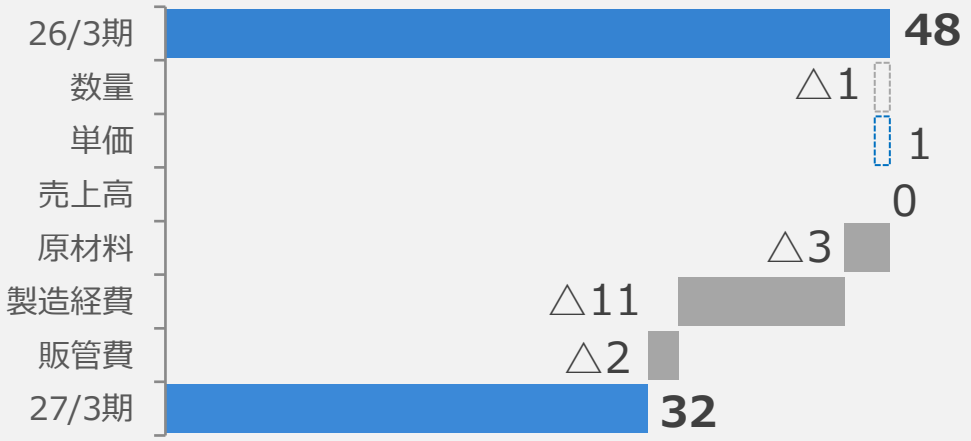
COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

低温食品事業　第２四半期までの概況

売上高・営業利益の推移（単位：億円）

（単位：億円）	26/3期	1Q	2Q	27/3期	前期差
売上高	325	158	164	**322**	△3
前期比	104%	99%	100%	**99%**	–
営業利益	48	17	15	**32**	△16
営業利益率	14.7%	10.6%	9.0%	**9.8%**	△4.9%

営業利益増減要因（単位：億円）



（単価効果と販売数量は、売上高による影響の内訳を示します）

	1Q	2Q	上期	期初予想との差
売上高	0	0	**0**	△3
原材料	0	△3	**△3**	△1
製造経費	△5	△6	**△11**	△2
販管費	△1	△1	**△2**	△1
合計	△6	△10	**△16**	△7

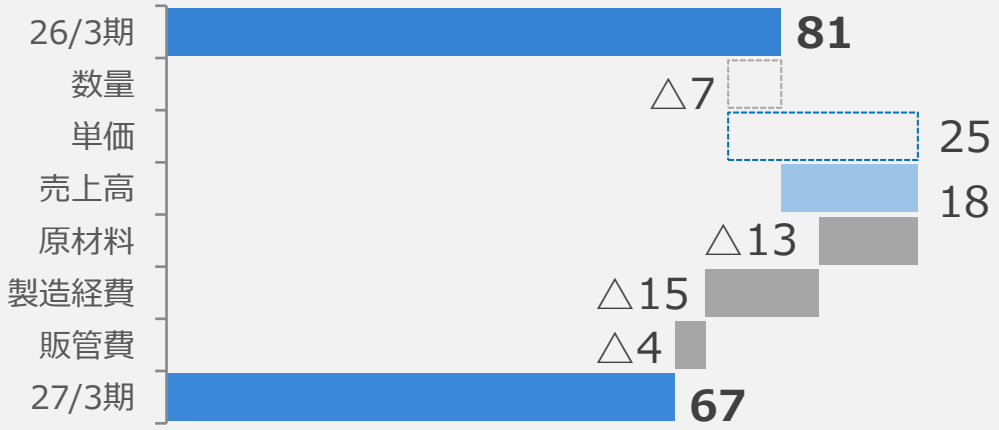
（原材料、製造経費、販管費の“△”は、費用の増加による影響額を示します）

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

低温食品事業　通期業績予想

（単位：億円）	26/3期	27/3期	前期差
売上高	615	**618**	+3
営業利益	81	**67**	△14
営業利益率	13.2%	**10.8%**	△2.4%

営業利益増減要因（単位：億円）



（単価効果と販売数量は、売上高による影響の内訳を示します）

売上高

- 生麺は、中東情勢の影響によるコストアップを受け10月から価格改定を実施。消費者への新価格浸透を図る
- 主力の「マルちゃん焼そば3人前」のキャンペーン企画により、更なるブランド育成を進める
- 2027年2月から冷凍食品の価格改定を予定。コストアップへの対応策を実施し、減益幅の最小化を目指す

営業利益

- 原材料は、輸入小麦の政府売り渡し価格の変更と、中東情勢の影響によるコストアップを織り込み、減益
- 製造経費は、新工場の減価償却費増は下期から一巡。動力費は中東情勢の影響を織り込み、減益
- 販管費は、宣伝費は前期並みも、物流費の高騰を織り込み、減益

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

低温食品事業　下期の取り組み

価格改定後も需要喚起を継続し、販売数量の確保を図ります

1　価格改定による収益性改善

対象商品
生めん･チルド商品
（一部商品を除く）

2026年10月1日 納品分より
希望小売価格を引き上げ
約8～14%

対象商品
業務用冷凍食品
市販用冷凍食品
（一部商品を除く）

2027年2月1日 納品分より
出荷価格を引き上げ
約3～11%

コスト上昇への対応
中東情勢の影響も含め、原材料費・包材費・燃料費・物流費等のコスト増の吸収を進めます。

2　主力商品を中心とした販売数量の確保

「マルちゃん焼そば」シリーズの販売強化

定番商品を軸に、期間限定商品とキャンペーンで需要を喚起
多彩な味わいの提案を通じて、家庭での喫食機会を広げます

マルちゃん 焼そば



消費者キャンペーン：2026年11月1日～2027年1月31日

ライフスタイルの変化・ニーズの多様化への対応

個食・簡便商品の拡充、多様な嗜好への対応

1人分･手軽な調理に対応した商品を展開
味わい･食感にこだわる商品の販売を強化



主力商品の販売強化により、収益性向上につなげます

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年4月：消費税減税を見据えた需要動向と対応

TOYO SUISAN

減税前後で消費者の購買行動、小売の販促にも変化が生じる可能性

2027年3月期 4Q

減税前の需要動向を注視

- 賞味期間の長い即席麺・加工食品では、消費者の買い控えが起きる可能性
- 需要動向を慎重に見ながら、主力商品の販売施策を継続

2027年
4月

食品消費税
減税

（想定）

2028年3月期 1Q

減税後の需要動向を注視
内食需要の拡大に期待

- 食品に対する購買行動や消費動向の変化を注視
- 小売の販促動向を捉え、販売機会の最大化を図る

減税前後の需要動向を見極めながら、販売機会の最大化を図る

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

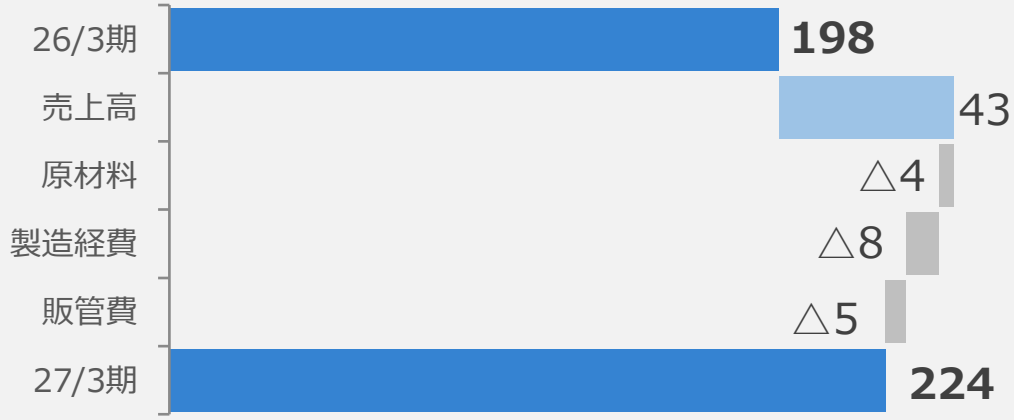
02-2 海外即席麺事業

海外即席麺事業　第２四半期までの概況

売上高・営業利益の推移（単位：億円）

（単位：億円）	26/3期	1Q	2Q	27/3期	前期差
売上高	1,158	644	685	1,329	+171
（百万ドル）	**793**	**404**	**430**	**834**	**+41**
前期比	103%	105%	106%	**105%**	–
営業利益	289	169	188	357	+68
（百万ドル）	**198**	**106**	**118**	**224**	**+26**
営業利益率	25.0%	26.3%	27.4%	**26.9%**	+1.9%

営業利益増減要因（単位：百万ドル）



	1Q	2Q	上期	期初予想との差
売上高	+29	+14	**+43**	△16
原材料	△2	△2	**△4**	+23
製造経費	△5	△3	**△8**	+12
販管費	△4	△1	**△5**	△3
合計	+18	+8	**+26**	+16

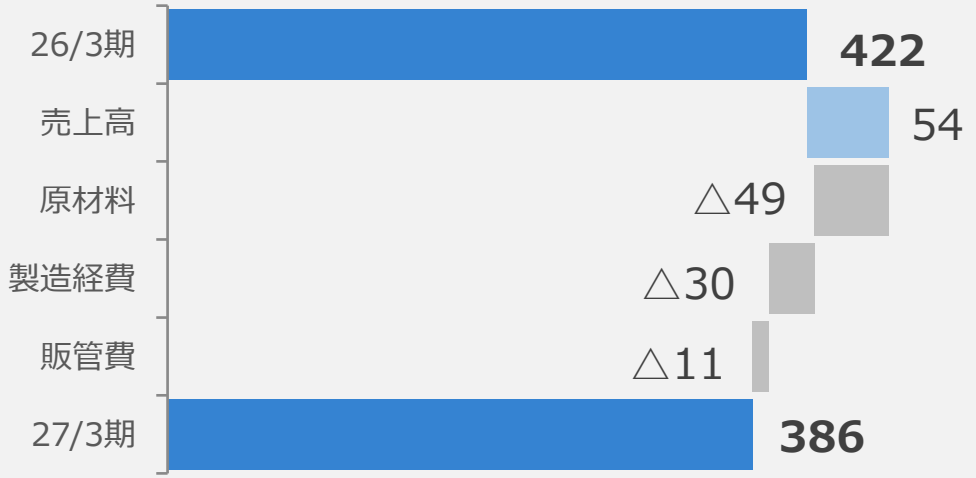
（原材料、製造経費、販管費の“△”は、費用の増加による影響額を示します。）

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

海外即席麺事業　通期業績予想

（単位：億円）	26/3期	27/3期	前期差
売上高	2,482	2,727	+245
（百万ドル）	**1,646**	**1,715**	**+69**
営業利益	636	614	△20
（百万ドル）	**422**	**386**	**△36**
営業利益率	25.6%	22.5%	△3.1%

営業利益増減要因（単位：百万ドル）



売上高

- 米国では、大手量販店との特売機会の回復やマーケティング強化により、数量回復を目指す
- メキシコでは、1Q価格改定後も堅調な需要が継続。新商品の展開や、袋麺のブランド育成を進める
- 米国での紙カップ容器の切り替えは、当初計画通り下期の後半から実施予定

営業利益

- 原材料は、小麦は増益要因、パーム油は減益要因。中東情勢の影響によるコストアップを織り込み、減益
- 製造経費は、カリフォルニア工場稼働に伴う固定費は主に下期から発生。動力費高騰もあり、減益
- 販管費は、宣伝費は増益要因も、物流費はガソリン単価の高騰やドライバー人件費増もあり、減益

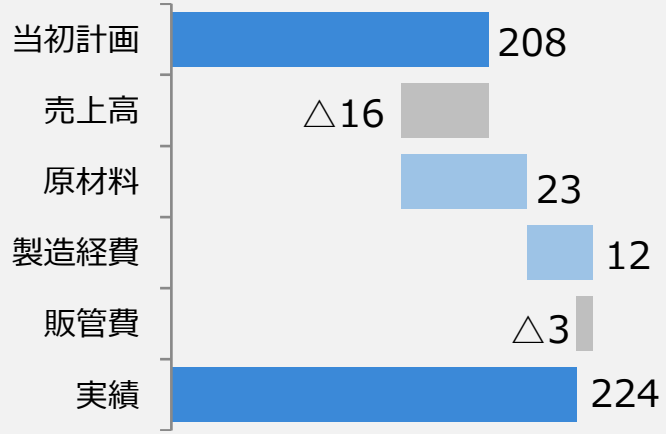
COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

海外即席麺事業　2027年3月期 営業利益 当初計画差異

上期はカリフォルニア工場の稼働計画変更に伴う製造経費の期ずれ、下期は中東情勢を背景とした原材料費の増加を織り込みました。引き続き、製造・販売・配送の各領域における改善活動を通じて、コスト上昇影響の吸収を図ります。

27/3期
（単位：百万ドル）

上期（実績）



・・・・ 数量：（－）米国
販促：（＋）米国特売費減少、メキシコペソ安定

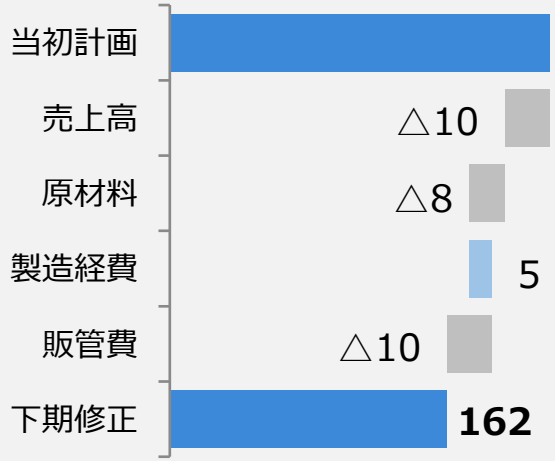
・・・・ （＋）数量減による変動費、（＋）還付金

・・・・ （＋）新ライン稼働計画変更による固定費、（＋）数量減による変動費

・・・・ （－）宣伝費

上期：計画比 ＋16（トータル利益上振れ）

下期（予想）



・・・・ （－）米国特売費増加、メキシコペソ安

・・・・ （－）中東情勢の反映

・・・・ （＋）数量減による固定費

・・・・ （－）物流費高騰

下期：当初計画比 △23（トータル利益減少）

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

米国における消費者・流通の変化、現状認識

米国即席麺事業を取り巻く事業環境について改めて課題認識を行い、その解決に向けた取り組みを強化してまいります。
中長期的な持続的数量成長を最重要課題と位置づけ、販促活動の再強化やマーケティング強化を通じて需要創出を図り、
年平均成長率2～3%の安定成長軌道への回帰を目指します。

外食から内食へのシフト



外食コスト上昇を背景に
内食需要が拡大

食品購入量の減少



節約志向の強まりにより
購買量が縮小

肥満治療薬の普及



健康志向の高まりで
食品需要構造が**変化**

SNAP削減

※SNAP=低所得者向け食料支援制度



SNAP削減により
低価格食品の需要拡大

＋

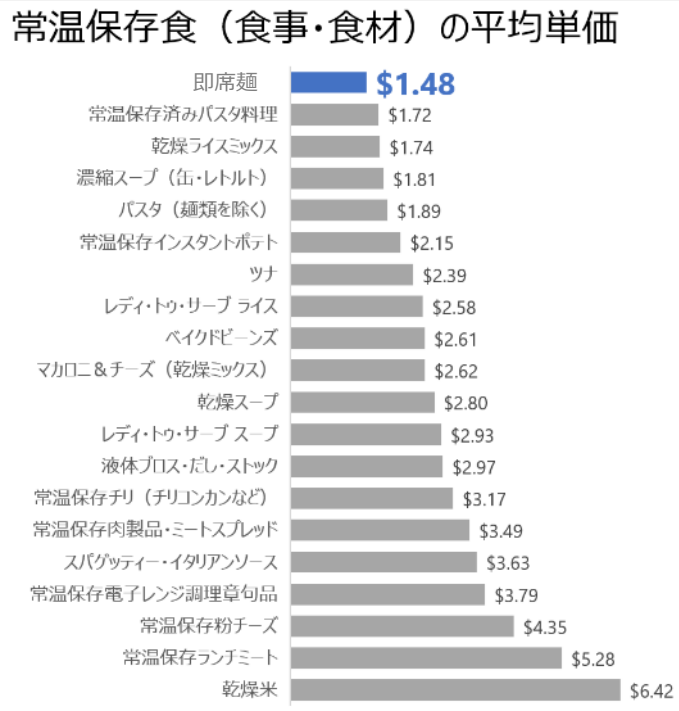
競争環境の激化・消費者の選択肢増加

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

米国における即席麺市場の成長機会

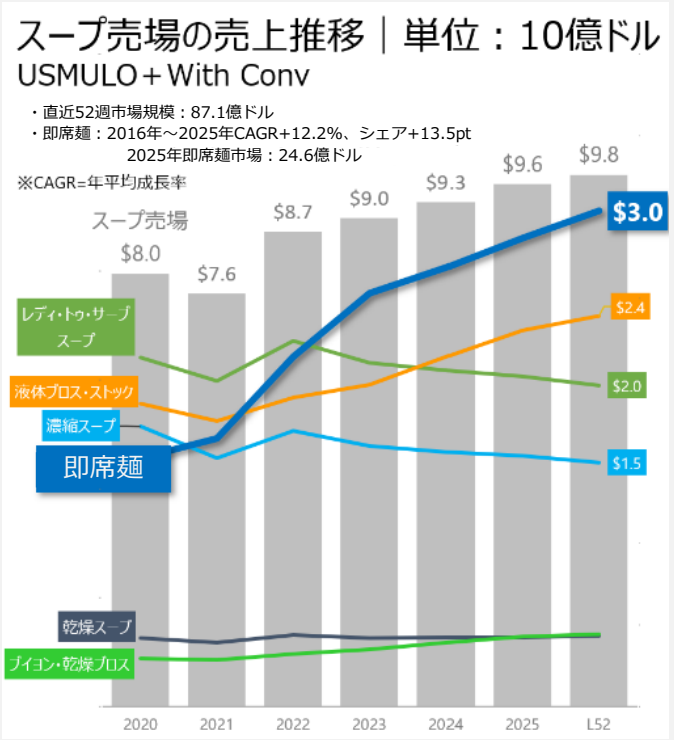
即席麺は「価格・価値」を求める消費者ニーズに合致しており、米国食品カテゴリの中でも高い成長を継続。

消費者ニーズとの適合



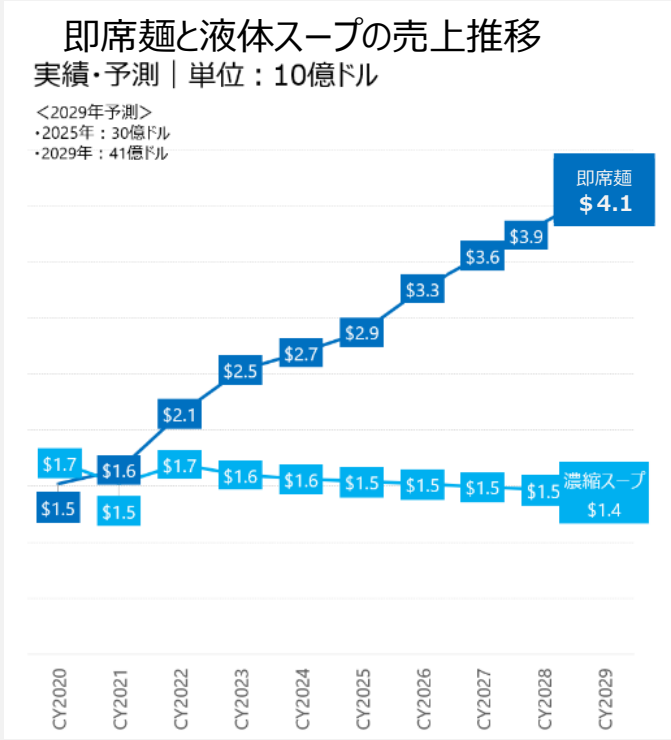
Source: Circana Unify Total US MULO+ with Conv, Top 20 Shelf Stable Meals subcategories by dollar sales, Avg Price Per Unit, L13 WE 7/12/26 (updated quarterly)

市場成長



Source: Circana Unify (Calendar Years; L52 WE 07/12/26 – Total US MULO+ with Conv); CAGR – Compound Annual Growth Rate (average year-over-year growth rate)

将来性



Source: Circana Unify (Calendar Years – Total US MULO+ with Conv)
*under current economic conditions and based on historicals

今期・中長期目線での施策を軸に、安定した数量成長に向け、取り組んでまいります。

- **今期取り組み　リアル・デジタル施策、下期中心の拡売施策**
- **新工場稼働による将来に向けたイノベーション**

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

米国即席麺市場　今期の取り組み

主力価格 帯商品　高価格 帯商品　新機軸 帯商品

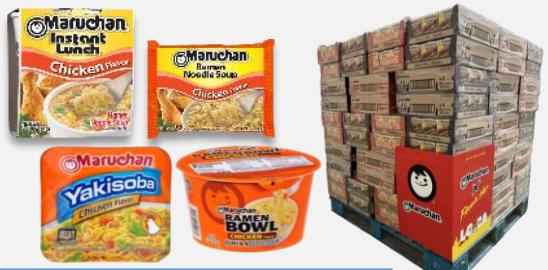
「リアル（販促回数・店頭露出）×デジタル施策」の強化

販促枠の獲得、店頭露出の増加、デジタル施策の継続により、消費者との接点、購入機会の最大化を目指す

リアルでの消費者との接点

販促枠獲得
店頭価格上昇対策

店頭露出の最大化
購入機会増





サンプリング活動

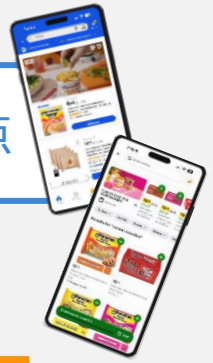


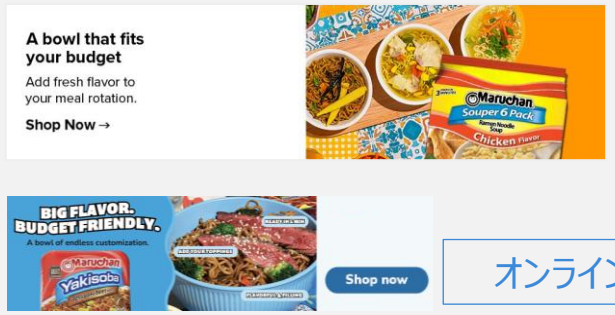


次世代をターゲットとしたイベントでのサンプリング活動実施

デジタルでの消費者との接点

デジタル需要創出
広告･新規需要拡大





オンライン販売



数量・期間限定販売による話題創出

下期の販売施策

主力価格 帯商品

特売による価格訴求に加えて、
什器やパレット大陳による露出増等、
消費者へのアプローチを強化してまいります。

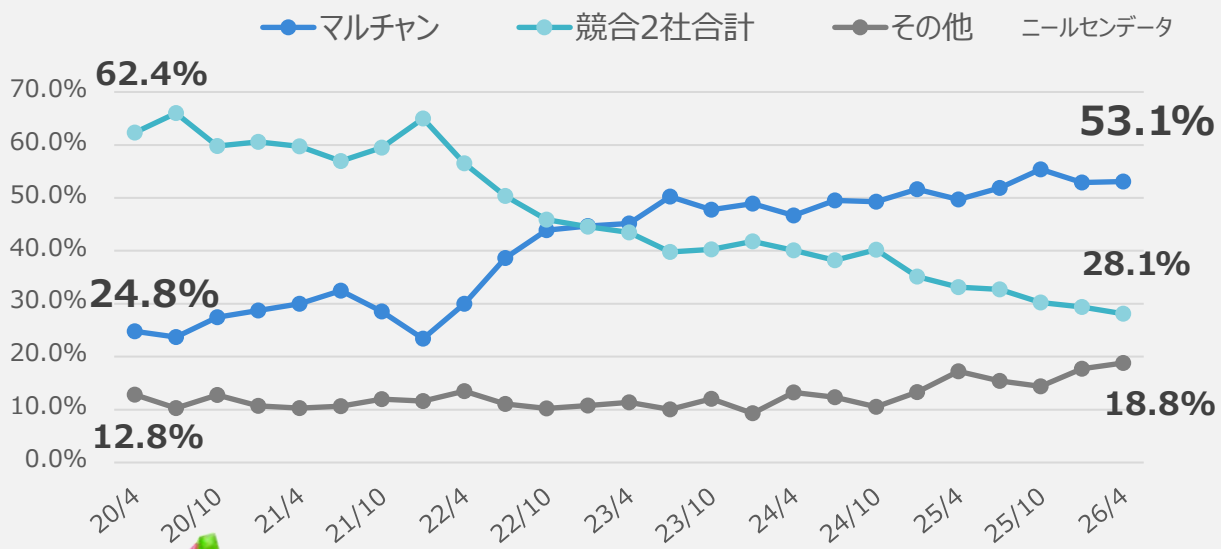
実施予定（一例）
- 大手量販店での縦型カップ・袋麺の販促
- 什器を用いた販促活動強化
- 大手量販店へのカップ製品の再導入



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

メキシコ即席麺市場における袋麺シェア推移と取り組み

袋麺市場におけるシェア推移比較（数量）



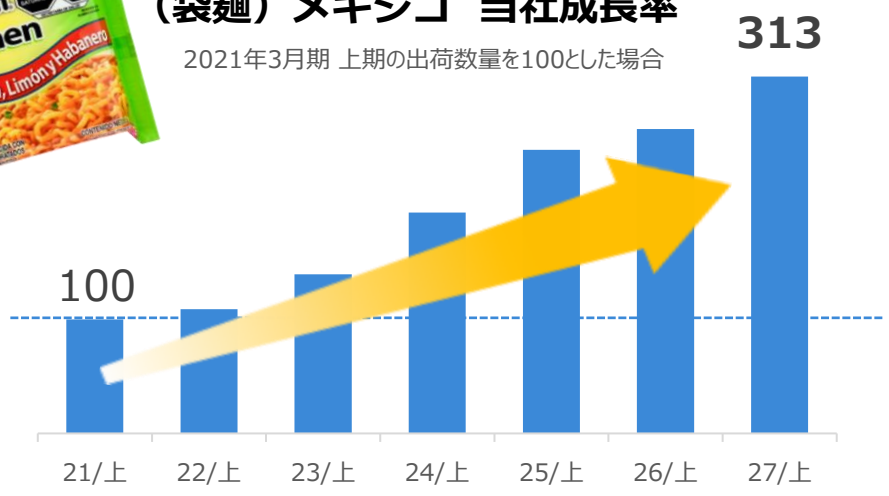






（袋麺）メキシコ　当社成長率

2021年3月期 上期の出荷数量を100とした場合



＜新商品＞
激辛シリーズ「ファイア」
袋麺・ボウル　2026年8月発売



量販、問屋、CVSなど
多くの顧客から問い合わせあり

米国でも同シリーズを展開中



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

米国即席麺市場　将来に向けた生産体制と商品開発

カリフォルニア工場の新規設備稼働後は、既存設備を活かした付加価値商品の開発にも取り組みます。
新たな需要の創出と次世代消費者の獲得に向け、新機軸商品の開発・育成を進めます。

カリフォルニア工場拡張工事

総工費 約300億円（＄＝150）



段階的な投資実行
による能力増強（完工時）

+約20%

※既存能力を100とした場合

- Ⅰ期 約200億円（建物+製造設備）
- Ⅱ期 製造設備
- Ⅲ期 製造設備

- 安全、安心
- 製造マネジメント世代の育成

高価格帯商品　新機軸帯商品

麺質の向上 → スープの多様化 → 健康価値プラス → 日本の技術活用



将来需要の開拓

麺以外のカテゴリーの開拓



若年層やトレンドを意識した商品の開発



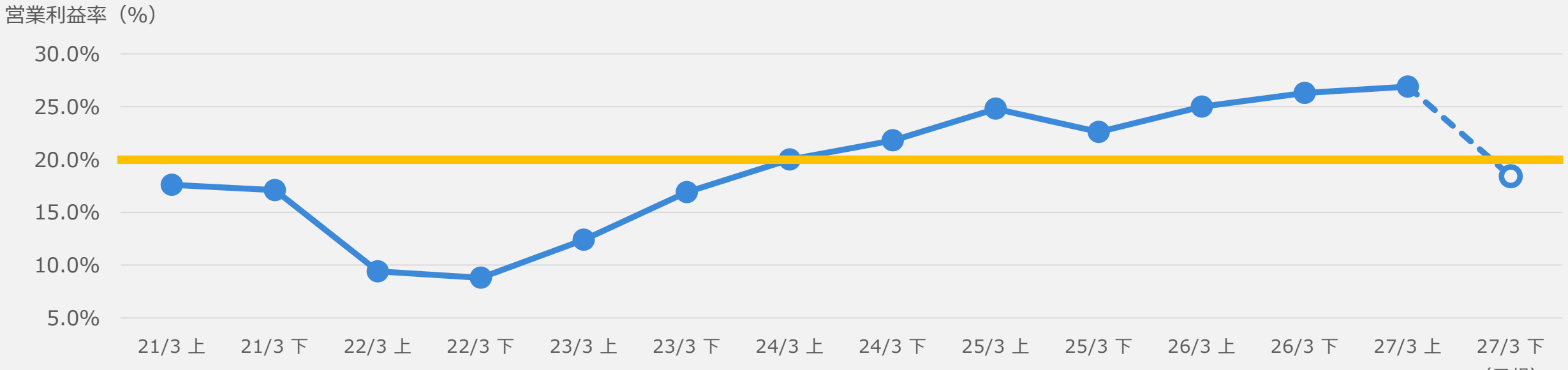


COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

海外即席麺事業 利益率の考え方

生産体制最適化、コストアップによる利益への影響

カリフォルニア工場への先行投資や原材料費上昇などにより、28/3期まではコストアップが継続する見込み。
数量増と適切な価格政策による増収効果を取り込み、営業利益率20%を軸に中長期的な収益力向上を目指します。



＋ プラス 要因

－ マイナス 要因

価格改定

価格転嫁

22/3期～23/3期
・主原材料価格の高騰
・テキサス工場 減価償却費増
・サプライチェーン混乱継続による物流費増

価格改定

価格転嫁

⇒収益力向上に向けて
・販売数量回復
・適切な価格政策
・主原材料価格の安定

内因
- カリフォルニア工場償却費
- 米国紙カップ化

外因
- 中東情勢
- コモディティ上昇予想

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

03　これまでの全体概況と今後の方針

現中期経営計画の位置づけとROE15%への道筋

現中期経営計画の目標達成を目指すとともに、海外即席麺事業等への成長投資に加え、経営基盤強化に向けた投資も着実に実行。各投資の稼働開始に伴い、償却負担が短期的には増加し、収益に一定の影響が生じる可能性があるが、投資回収の進展により、中長期の収益力強化、ROE15%での持続的な成長を進める。

～2025 基盤の強化

礎を築く3年間・飽くなき進化

過去最高
25/3期 営業利益
755億円

2025 ～ 2030 軌道に乗せる

ありたい姿の実現に向けて

- 国内外の設備投資の実行、稼働開始
- 継続と継承＆変革と進化
- 顧客市場と資本市場の価値向上の両立
- サステナビリティ経営の重点取り組み

28/3期 営業利益
820億円

26/3期実績
13.9%

28/3期
ROE目標
10%以上

2026～2028年3月期
中期経営計画期間

未来への投資先行期間

- 国内外の成長投資
- 安全・安心
- 効率化・整備
- ITデジタル
- ブランド
- 研究/技術開発
- サステナビリティ経営

2030～ 持続可能・安定フェーズ

長期ビジョン達成を目指す

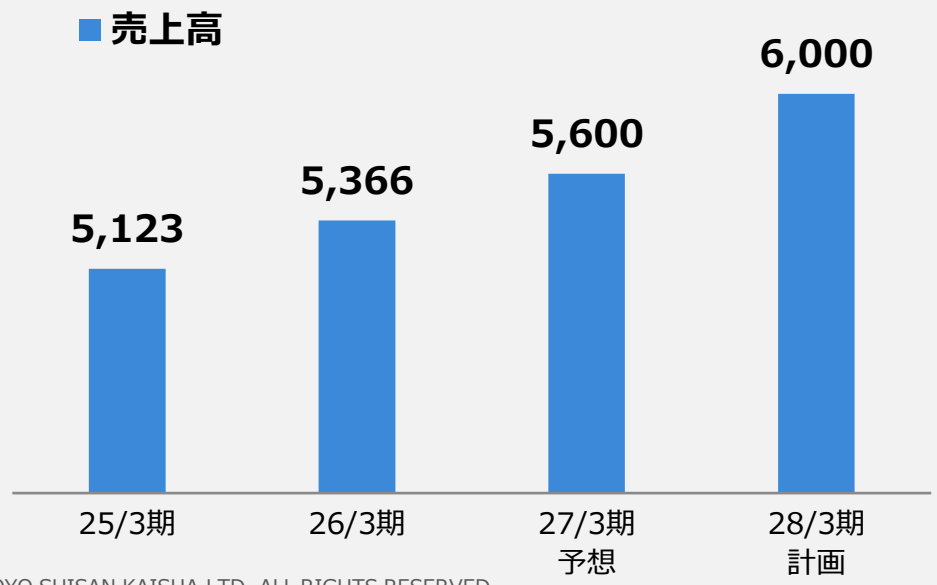
ROE
15%
長期目標

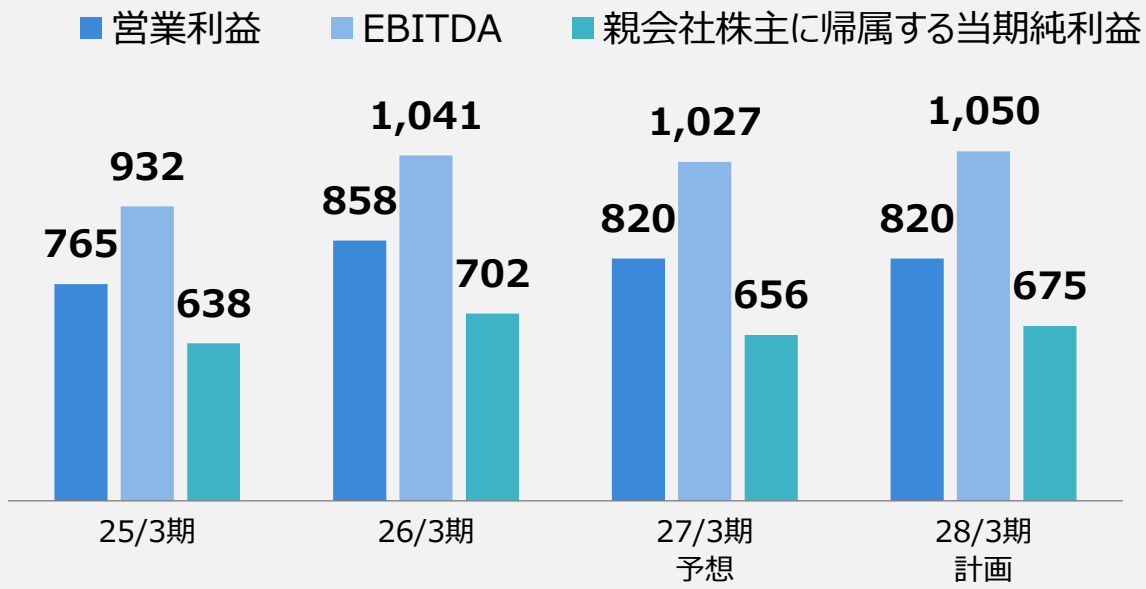
COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

中期経営計画の連結業績目標

（単位：億円）	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期予想	2028年3月期計画
売上高	5,123	5,366	5,600	6,000
営業利益	765	858	820	820
親会社株主に帰属する当期純利益	638	702	656	675
EBITDA*	932	1,041	1,027	1,050

*EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費





COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

国内即席麺事業

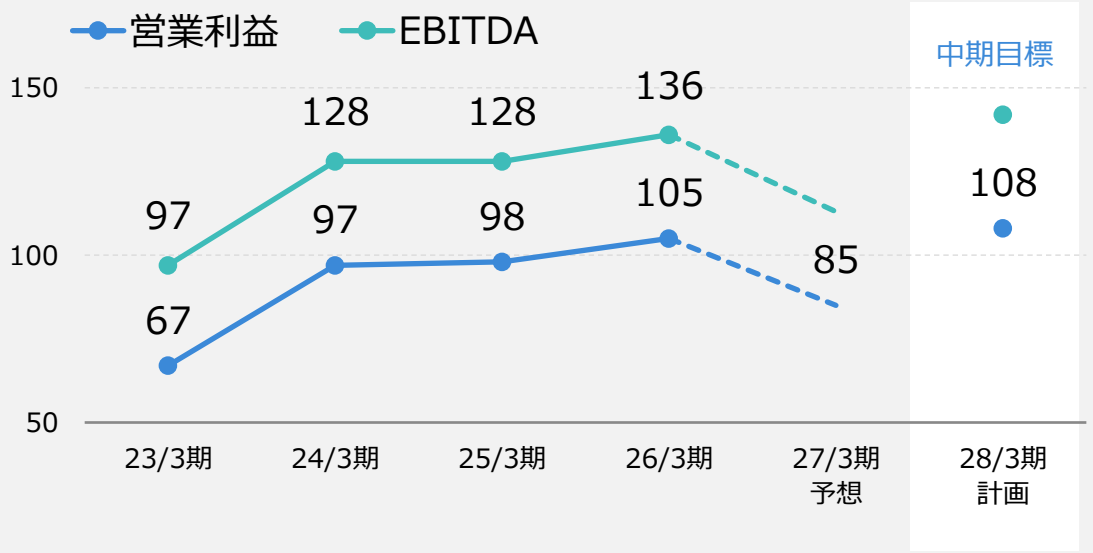
3カ年計画の取り組み

- **主力ブランドの価値向上**
  - 「赤いきつね」「緑のたぬき」「麺づくり」「マルちゃん正麺」の企画・プロモーション強化
- **育成ブランドの販促強化と定着化**
  - 「MARUCHAN QTTA」「マルちゃんZUBAAAN!」の商品企画・プロモーションなど積極展開
- **「焼そばはマルちゃん」への取り組み**
  - 「マルちゃん焼そば」の更なる育成
  - 3温度帯のカテゴリーを横断した、露出の強化



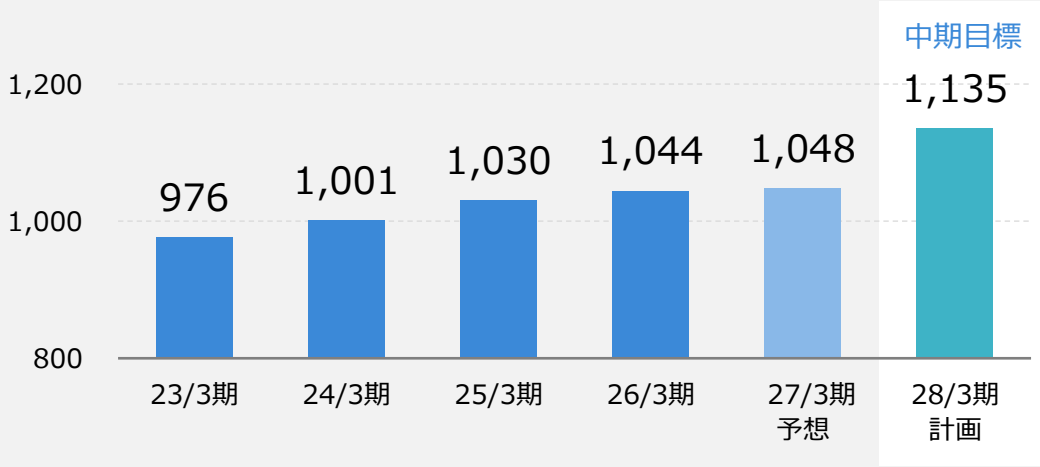
営業利益・EBITDAの推移

（単位：億円）



売上高の推移

（単位：億円）



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

低温食品事業

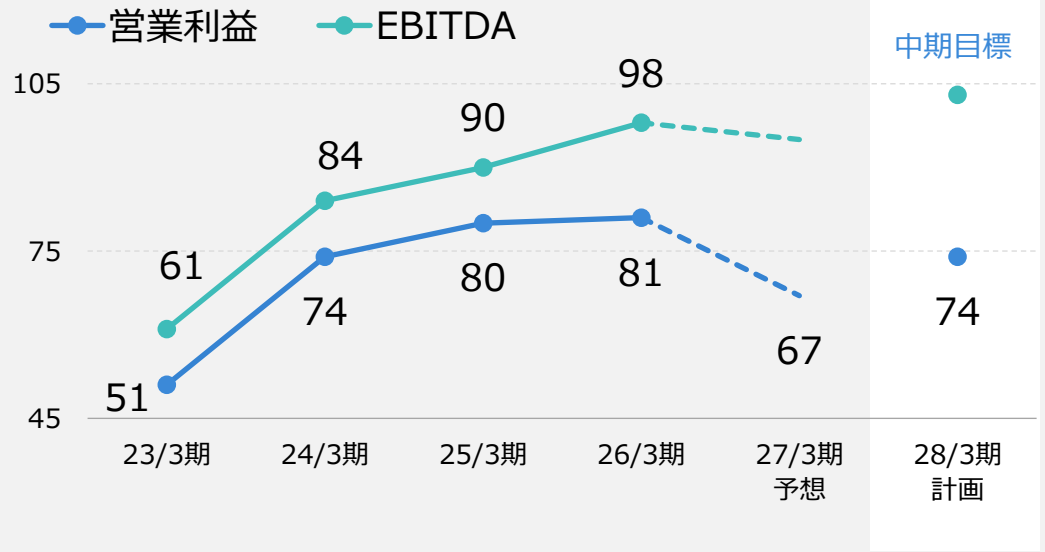
3カ年計画の取り組み

- **既存ブランドの価値向上**
  - 「マルちゃん焼そば３人前シリーズ」「パリパリ無限シリーズ」の商品企画・プロモーション強化
- **価値訴求型商品の育成**
  - 高価格帯「コクの一滴シリーズ」プロモーションの強化
- **簡便・個食等、食の多様化への対応**
  - 「つるやか」「昔ながらの中華そば」「孤高の一杯」シリーズの定着化
- **「焼そばはマルちゃん」への取り組み**
  - 冷凍麺「マルちゃん焼そば２食パック」の育成



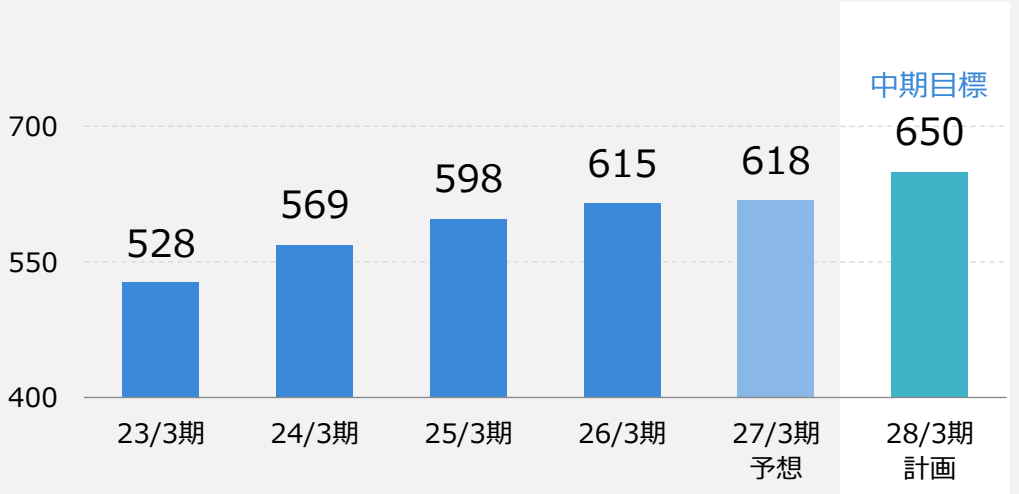
営業利益・EBITDAの推移

（単位：億円）



売上高の推移

（単位：億円）



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

加工食品事業

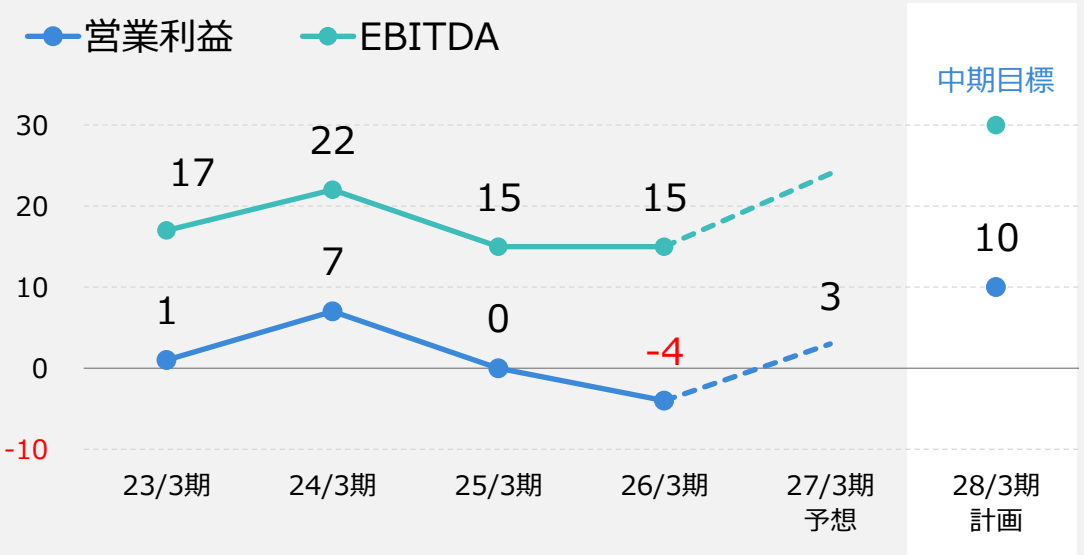
3カ年計画の取り組み

- **主力ブランドの価値向上**
  - 「あったかごはんシリーズ」「素材のチカラシリーズ」の商品企画強化
- **健康価値を訴求した商品の育成**
  - 「玄米ごはん」「麦ごはん」「MCTおさかなソーセージ」の育成
- **時短・簡便等の多様化への対応**
  - 「お鍋にポン」「炒飯の素」の商品企画強化



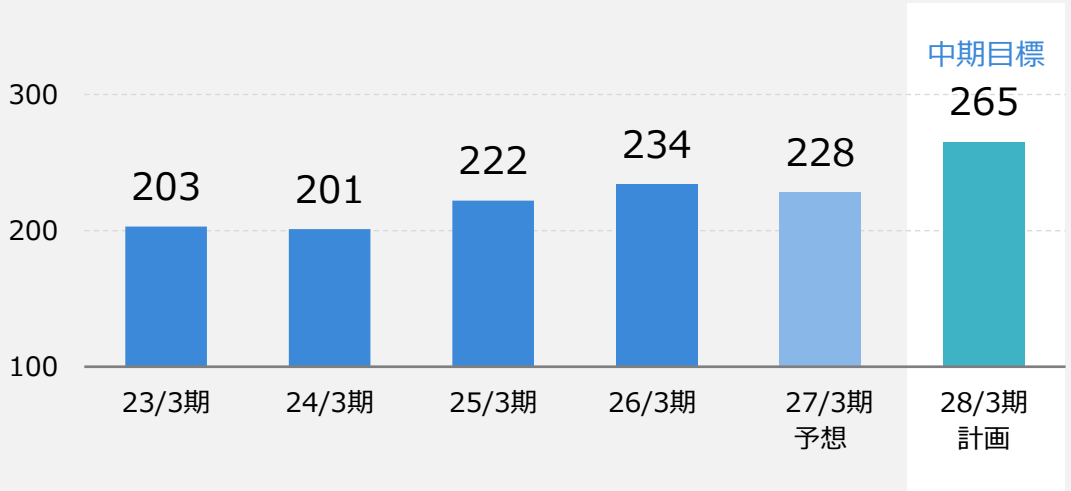
営業利益・EBITDAの推移

（単位：億円）



売上高の推移

（単位：億円）



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

水産食品事業

3ヵ年計画の取り組み

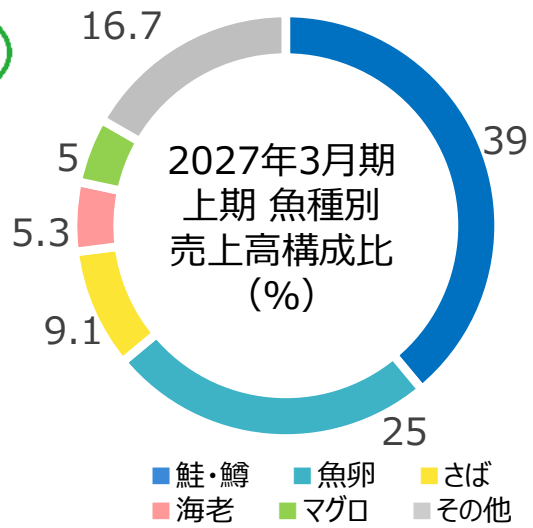
- **得意魚種の更なる成長・拡大**
  - 売上高の約80%を占める「鮭・鱒」、「魚卵」、「さば」、「海老」、「マグロ」の商品企画強化
- **新たな魚食需要の創造**
  - 市販用冷食「ChoiFish」シリーズの強化・育成
- **利益率向上に向けた水産グループの連携と合理化**
  - 国内外の水産グループ全体の情報共有の円滑化等を進め競争力強化やコスト削減に繋げる





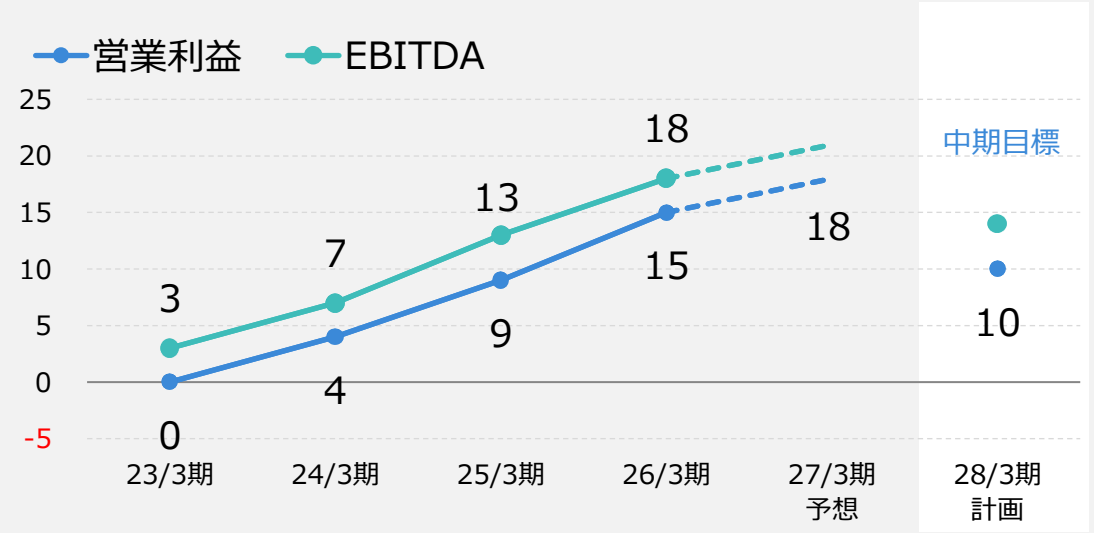






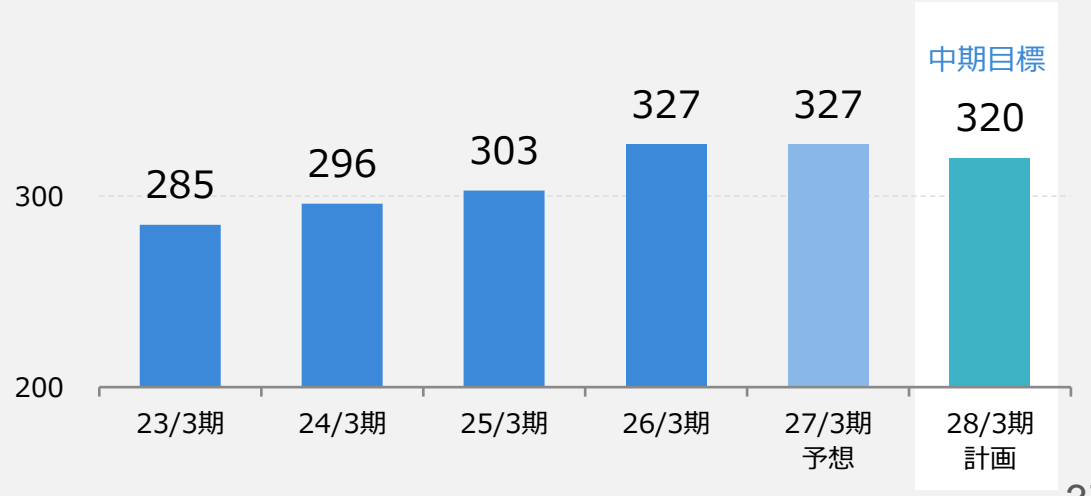
営業利益・EBITDAの推移

（単位：億円）



売上高の推移

（単位：億円）



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

冷蔵事業

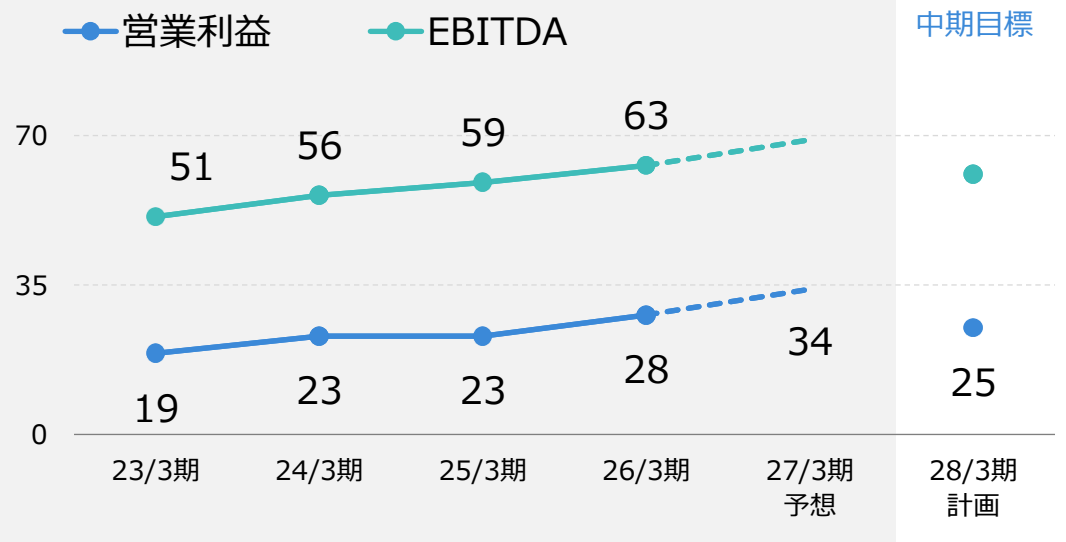
3ヵ年計画の取り組み

- **顧客ニーズへの対応力強化**
  – 安全性・効率性・収益性を高める体制を構築し、課題解決力を高めることで、食品以外も含めた顧客層の拡大を図る
- **グループ内でのシナジー創出**
  – 今後の拡大を目指す「低温食品事業」「水産食品事業」での冷凍温度帯の保管・配送の効率化
- **社会課題への取り組み**
  – 自然冷媒への切り替えに対する計画的な投資の実行



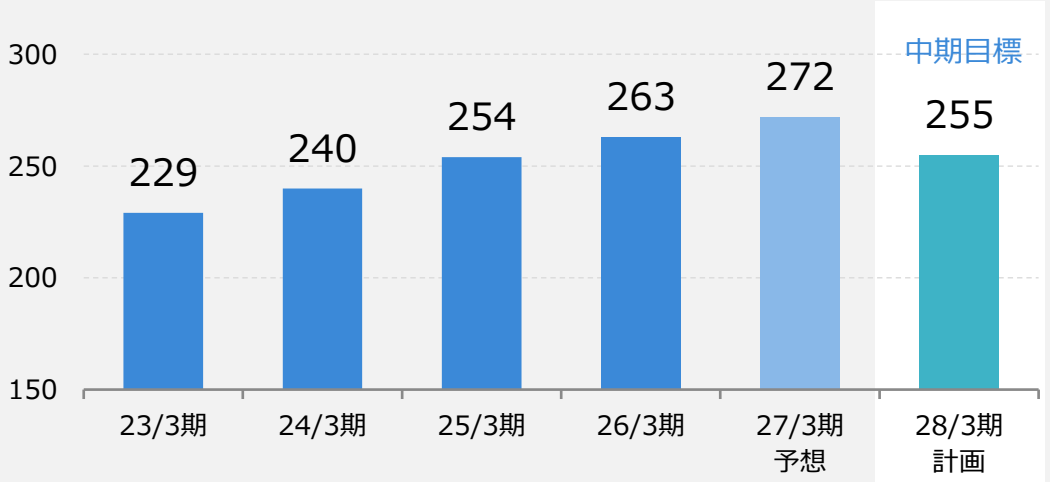
営業利益・EBITDAの推移

（単位：億円）



売上高の推移

（単位：億円）



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

海外即席麺事業

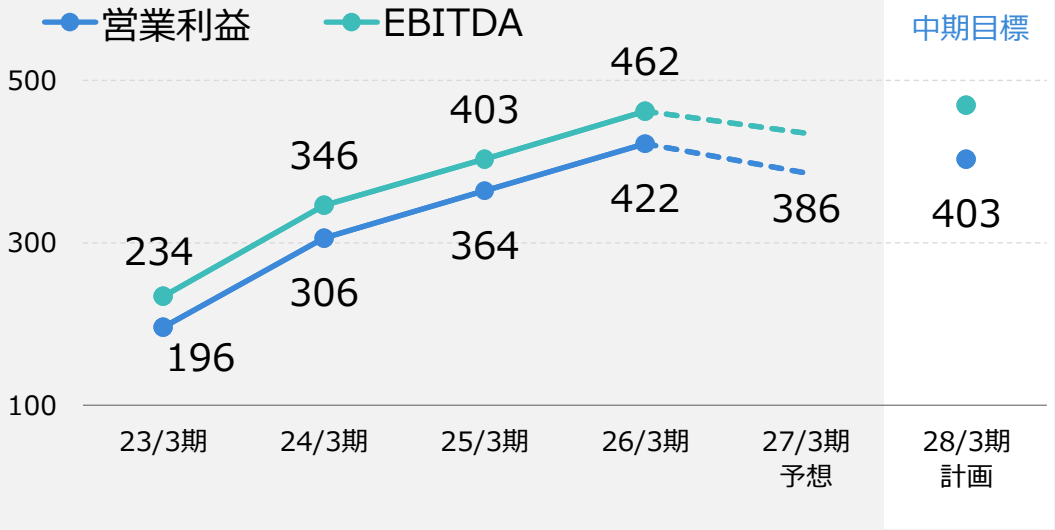
3カ年計画の取り組み

- **主力商品の更なる成長**
  - 「Ramen」「Instant Lunch」シリーズの地域別、チャネル別、世代別での各種プロモーションの強化
- **商品開発強化による需要の創出**
  - 「Yakisoba」「Bowl」「Maruchan GOLD」シリーズに加え、環境変化による新たなニーズを捉えた新商品を投入
- **生産体制の強化**
  - カリフォルニア新工場の稼働開始と、効果の最大化



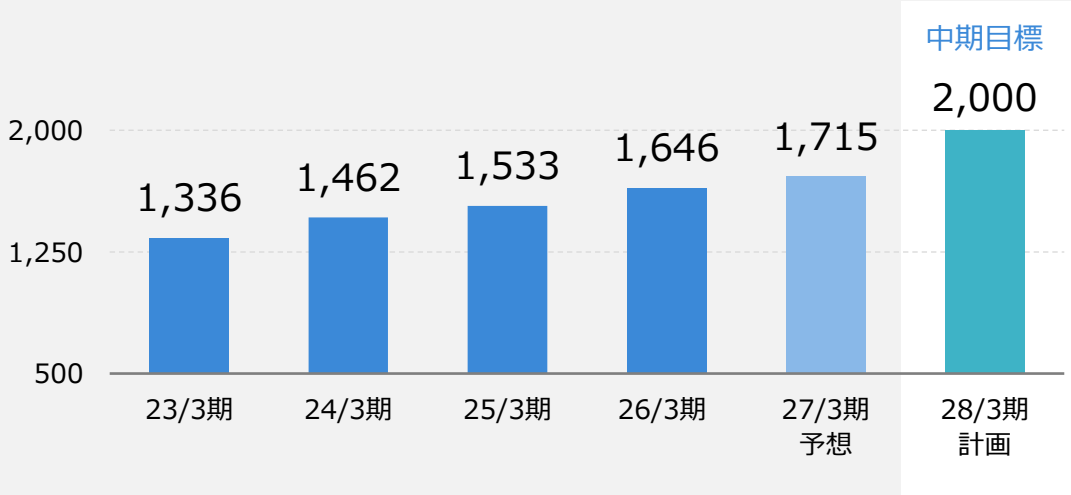
営業利益・EBITDAの推移

（単位：百万ドル）



売上高の推移

（単位：百万ドル）



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

中期経営計画のキャピタルアロケーションについて

中期経営計画期間では、より積極的な投資と、株主還元を両立し、現預金水準は増やさない方針で進める

3年間のキャピタルアロケーション

純利益
減価償却費

合計概算
2,500億円

設備投資
1,300億円以上

株主還元
強化
総還元性向70%を目途

25/3期
期末現預金
2,570億円

主要設備投資

成長投資	海外即席麺	● カリフォルニア工場拡張（第二期・第三期）
	加工食品	● フリーズドライ工場拡張（第二期）
	海外即席麺	● メキシコ工場新設
効率化投資	低温食品	● 冷凍食品の強化
	国内即席麺	● 具材設備の整備
	国内即席麺	● 即席麺・生麺工場の再編
	低温食品	
その他	冷蔵	● 自然冷媒切替
	全社	● 基幹システム更新
	全社	● 更新投資 約300億円（毎期約100億円）
株主還元		● 総還元性向70%を目途 -配当性向30%超による配当 -自己株式取得

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

中期経営計画の事業別投資と効率化についての考え方

■国内即席麺：築年数や、立地に応じた事業継続、生産効率向上を目的とした投資を中心に行う。「物流効率化法」への対応したサプライチェーン改善も進める。
■低温食品　：生麺・冷凍麺工場の築年数や立地等に応じ、安定供給確保・生産効率向上の投資を実施。需要の取り込みによる数量拡大と収益性の改善を図る。
■加工食品　：フリーズドライの需要拡大対応に加え、効率化・生産性向上を図る。米飯・フリーズドライを中心に、売上・利益両面での成長を目指す。
■冷蔵　　：環境に配慮した自然冷媒切り替え、庫内オペレーションの効率化を進める。冷蔵物流需要の取り込みと適正な価格設定により、収益性の向上を図る。
■水産食品　：更新投資を通じた生産性向上・効率化を進める。得意魚種を中心にした売上拡大と、在庫圧縮を進めることにより、資本の効率化を図る。
■海外即席麺：需要拡大・地政学リスクを踏まえた最適生産体制構築により、更なる収益基盤強化を図る。顧客と連携したサプライチェーン効率化も進める。

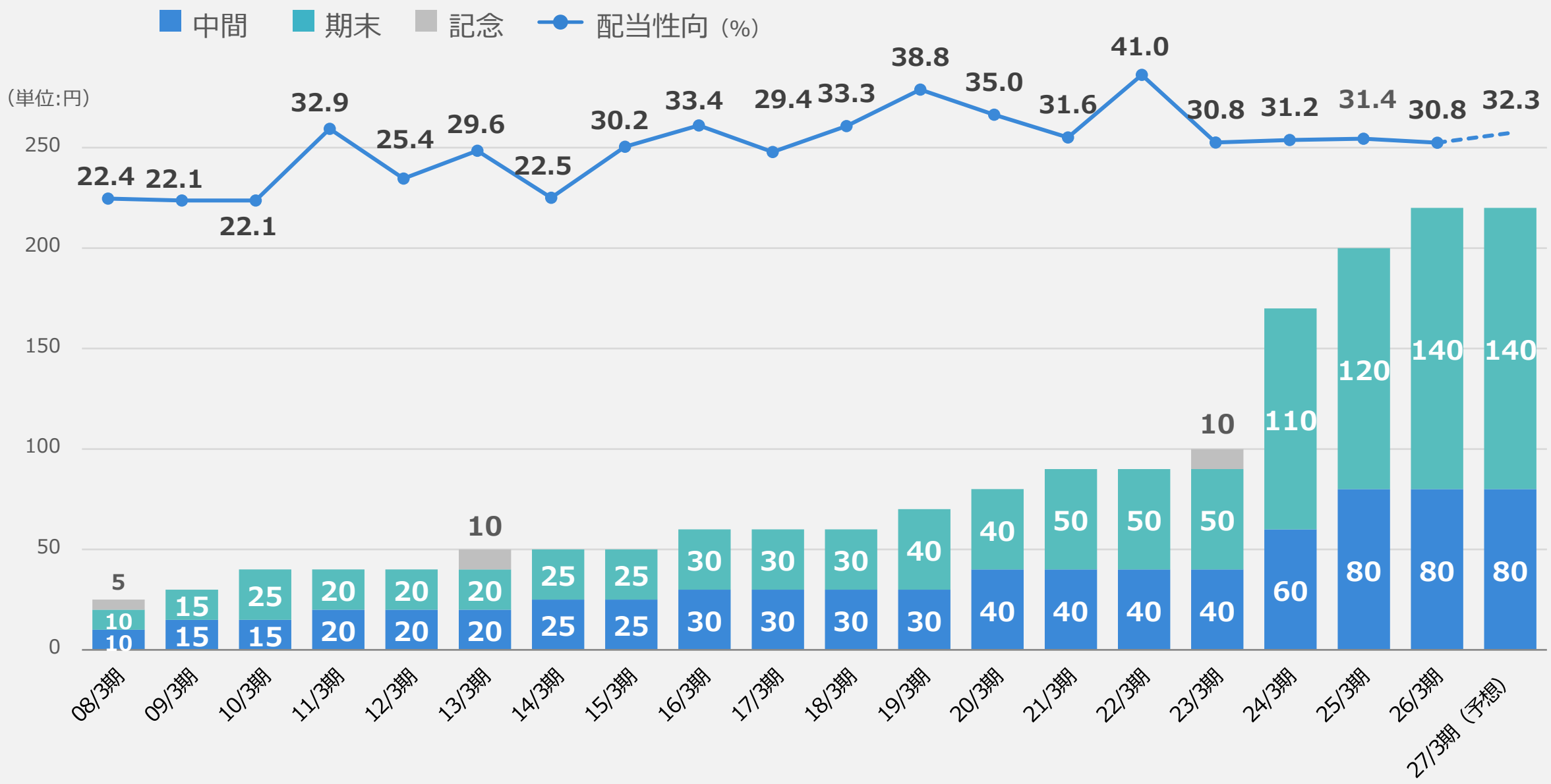
	2026年3月期　463億円 ※投資活動によるキャッシュフロー（有形+無形固定資産の合計）	2027年3月期　～
国内即席麺		具材工場リニューアル（効率化＋BCP） 西日本工場リニューアル（効率化＋BCP）
低温食品	生麺新工場リニューアル（効率化＋BCP）：約84億円	**冷凍食品工場リニューアル（成長＋BCP）** 西日本工場リニューアル（効率化＋BCP）
加工食品	フリーズドライ新工場増設（成長）：約26億円	フリーズドライ設備（第二期）増設（成長）
冷蔵	自然冷媒切替（効率化＋環境）：約12億円	自然冷媒切替（効率化＋環境）
水産食品		
海外即席麺	カリフォルニア工場増設工事：約184億円	カリフォルニア工場増設（成長） メキシコ工場（成長＋リスク軽減） カートン仕様変更（物流/SCM）
全社・その他	ベンダー工場リニューアル（効率化＋BCP）：約18億円	パレットサイズ変更（物流/SCM）
	基幹システム更新PJ（業務改善）：約37億円	**基幹システム更新PJ（業務改善）**

総額
20,542（百万円）
支払済み　－
完成予定
2031年3月
（建物30年定率償却）
（機械設備10年定率償却）
対象セグメント
■低温食品事業

総額
28,800（百万円）
支払済み5,106（百万円）
完成予定
2030年5月
（5年定額償却）
対象セグメント
■国内即席麺事業
■低温食品事業
■加工食品事業

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.
※投資案件に記載した金額は、26/3期単年度の支払いベース実績で、投資案件の総額ではありません。

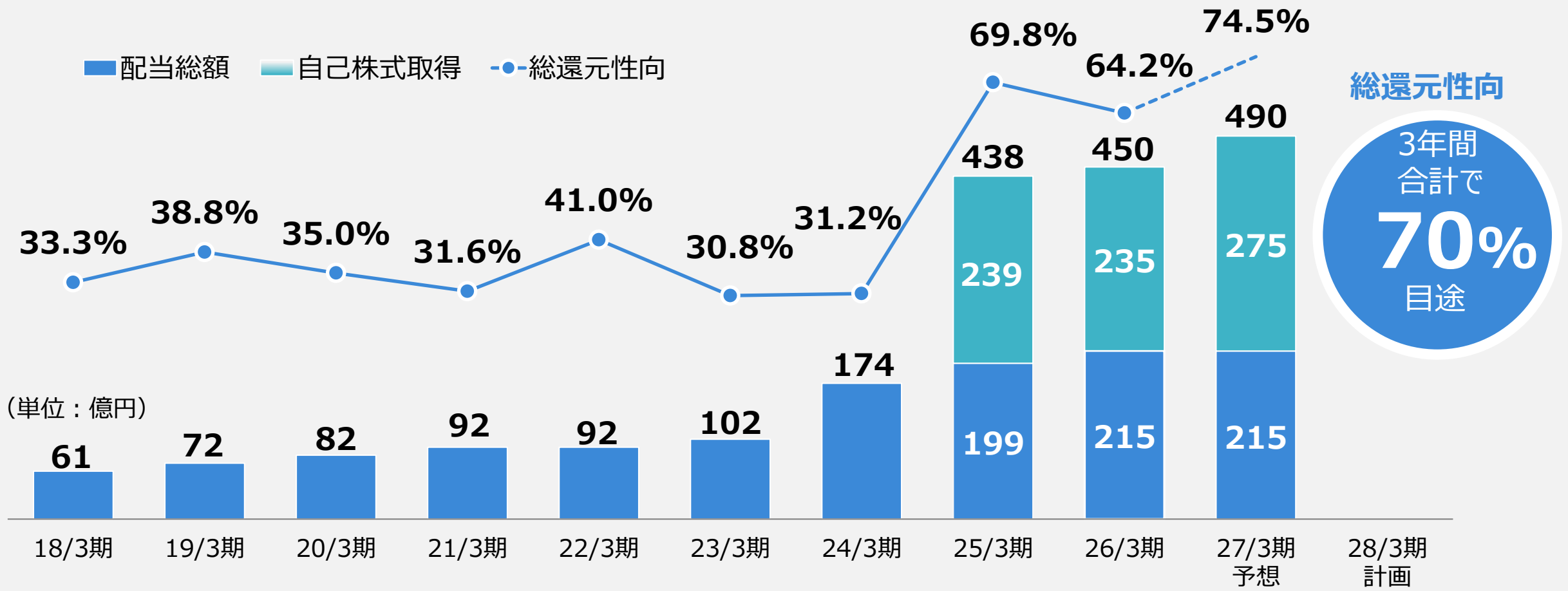
年度ごとの配当金と配当性向推移



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

株主還元について　株主総還元と総還元性向

- 株主還元強化と資本効率の向上を目的に、配当に加え自己株式取得を計画
- 中期経営計画期間中の総還元性向は70%を目途に実施する



COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

04　参考資料

2027年3月期　通期　売上高予想（前期比）

（単位：億円/前期比：%）	26/3月期	27/3期（予想）					
	通期（実績）	上期（実績）		下期（予想）		通期（予想）	
連結売上高	5,366	2,741	107%	2,859	102%	**5,600**	104%
水産食品事業	327	153	97%	174	102%	**327**	100%
海外即席麺事業	2,482	1,329	115%	1,398	106%	**2,727**	110%
（百万ドル）	1,646	834	105%	881	103%	1,715	104%
国内即席麺事業	1,044	479	103%	569	98%	**1,048**	100%
袋　麺	170	81	109%	92	96%	173	102%
カップ麺	874	398	102%	477	98%	875	100%
低温食品事業	615	322	99%	296	102%	**618**	100%
加工食品事業	234	106	98%	122	97%	**228**	98%
冷蔵事業	263	141	104%	131	102%	**272**	103%
その他（調整額含）	401	211	99%	169	91%	**380**	95%

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期　通期　営業利益予想（前期比）

（単位：億円/前期比：%）	26/3期 通期（実績）	27/3期（予想） 上期（実績）		下期（予想）		通期（予想）	
連結営業利益	858	458	115%	362	79%	**820**	96%
水産食品事業	15	9	105%	9	150%	**18**	123%
海外即席麺事業	636	357	124%	257	74%	**614**	97%
（百万ドル）	422	224	113%	162	72%	386	92%
国内即席麺事業	105	38	105%	47	69%	**85**	81%
低温食品事業	81	32	66%	35	106%	**67**	83%
加工食品事業	△4	△0	↑	3	↑	**3**	↑
冷蔵事業	28	19	122%	15	119%	**34**	120%
その他	9	8	93%	1	140%	**9**	95%
（調整額）	△12	△5	-	△5	-	**△10**	-

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期　第２四半期　事業別利益増減要因（実績）

2027年3月期 第2四半期	■国内即席麺（単位：億円）			■低温食品（単位：億円）			■海外即席麺（単位：百万ドル）		
	26/3期	27/3期	前期差	26/3期	27/3期	前期差	26/3期	27/3期	前期差
売上高	463	**479**	**+16**	325	**322**	**△3**	793	**834**	**+41**
営業利益	37	**38**	**+1**	48	**32**	**△16**	198	**224**	**+26**

利益増減要因	■国内即席麺（単位：億円）			■低温食品（単位：億円）			■海外即席麺（単位：百万ドル）		
	期初予想	実績	差	期初予想	実績	差	期初予想	実績	差
売上高	+10	**+10**	0	+3	**0**	△3	+59	**+43**	△16
原材料	△8	**△13**	△5	△2	**△3**	△1	△27	**△4**	+23
製造経費	+1	**+3**	+2	△9	**△11**	△2	△20	**△8**	+12
販売費･一般管理費	△3	**+1**	+4	△1	**△2**	△1	△2	**△5**	△3
合　計	0	**+1**	+1	△9	**△16**	△7	+10	**+26**	+16

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期　通期　事業別利益増減要因（予想）

2027年3月期	■国内即席麺（単位：億円）			■低温食品（単位：億円）			■海外即席麺（単位：百万ドル）		
	26/3期	27/3期	前期差	26/3期	27/3期	前期差	26/3期	27/3期	前期差
売上高	1,044	**1,048**	**+4**	615	**618**	**+3**	1,646	**1,715**	**+69**
営業利益	105	**85**	**△20**	81	**67**	**△14**	422	**386**	**△36**

利益増減要因	■国内即席麺（単位：億円）			■低温食品（単位：億円）			■海外即席麺（単位：百万ドル）		
	上期実績	下期予想	年間予想	上期実績	下期予想	年間予想	上期実績	下期予想	年間予想
売上高	+10	+12	**+22**	0	+18	**+18**	+43	+11	**+54**
原材料	△13	△32	**△45**	△3	△10	**△13**	△4	△45	**△49**
製造経費	+3	+1	**+4**	△11	△4	**△15**	△8	△22	**△30**
販売費･一般管理費	+1	△2	**△1**	△2	△2	**△4**	△5	△6	**△11**
合　計	+1	△21	**△20**	△16	+2	**△14**	+26	△62	**△36**

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期　第２四半期　四半期別連結損益計算書

（百万円）	25/3期				26/3期				27/3期		
	1Q	2Q	上期	通期	1Q	2Q	上期	通期	1Q	2Q	上期
為替（ＵＳＤ）	155.89	152.63	152.63	152.58	144.60	146.04	146.04	150.78	159.50	159.38	159.38
売上高	124,769	128,514	253,283	512,277	125,803	130,271	256,074	536,636	135,667	138,397	274,064
売上総利益	37,954	38,980	76,934	152,997	36,520	40,750	77,270	165,009	42,164	43,511	85,675
営業利益	19,803	20,025	39,828	76,513	18,300	21,472	39,772	85,799	22,573	23,252	45,825
経常利益	22,381	21,847	44,228	85,166	20,565	23,219	43,784	94,050	25,090	25,215	50,305
税引前利益	22,870	21,705	44,575	85,106	20,487	23,887	44,374	94,267	25,056	25,183	50,239
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	17,212	16,312	33,524	63,847	15,251	18,074	33,325	70,188	18,230	18,921	37,151
（前期比）											
売上高	-	-	-	-	100.8%	101.4%	101.1%	104.8%	107.8%	106.2%	107.0%
営業利益	-	-	-	-	92.4%	107.2%	99.9%	112.1%	123.4%	108.3%	115.2%
経常利益	-	-	-	-	91.9%	106.3%	99.0%	110.4%	122.0%	108.6%	114.9%
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	-	-	-	-	88.6%	110.8%	99.4%	109.9%	119.5%	104.7%	111.5%
（対売上高）											
売上総利益	30.4%	30.3%	30.4%	29.9%	29.0%	31.3%	30.2%	30.7%	31.1%	31.4%	31.3%
営業利益	15.9%	15.6%	15.7%	14.9%	14.5%	16.5%	15.5%	16.0%	16.6%	16.8%	16.7%
経常利益	17.9%	17.0%	17.5%	16.6%	16.3%	17.8%	17.1%	17.5%	18.5%	18.2%	18.4%
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	13.8%	12.7%	13.2%	12.5%	12.1%	13.9%	13.0%	13.1%	13.4%	13.7%	13.6%

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期　第２四半期　四半期別セグメント別業績

（百万円）	25/3期				26/3期				27/3期		
	１Ｑ	２Ｑ	上期	通期	１Ｑ	２Ｑ	上期	通期	１Ｑ	２Ｑ	上期
為替（ＵＳＤ）	155.89	152.63	152.63	152.58	144.60	146.04	146.04	150.78	159.50	159.38	159.38
売上高	124,769	128,514	253,283	512,277	125,803	130,271	256,074	536,636	135,667	138,397	274,064
水産食品事業	8,068	7,052	15,120	30,333	7,884	7,901	15,785	32,738	7,796	7,545	15,341
海外即席麺事業	58,462	59,671	118,133	233,953	55,698	60,141	115,839	248,153	64,372	68,540	132,912
（百万ドル）	375	399	774	1,533	385	408	793	1,646	404	430	834
国内即席麺事業	22,255	23,413	45,668	103,033	23,686	22,656	46,342	104,423	25,211	22,717	47,928
低温食品事業	15,257	15,932	31,189	59,831	16,080	16,402	32,482	61,543	15,849	16,373	32,222
加工食品事業	5,049	5,698	10,747	22,151	5,328	5,502	10,830	23,378	5,214	5,399	10,613
冷蔵事業	6,145	6,523	12,668	25,367	6,703	6,810	13,513	26,318	6,931	7,154	14,085
その他事業	9,530	10,224	19,754	37,606	10,420	10,859	21,279	40,080	10,291	10,669	20,960
営業利益	19,803	20,025	39,828	76,513	18,300	21,472	39,772	85,799	22,573	23,252	45,825
水産食品事業	260	283	543	854	425	473	898	1,467	352	593	945
海外即席麺事業	14,329	14,963	29,292	55,521	12,730	16,175	28,905	63,607	16,941	18,770	35,711
（百万ドル）	92	100	192	364	88	110	198	422	106	118	224
国内即席麺事業	2,120	1,855	3,975	9,824	2,131	1,534	3,665	10,468	2,425	1,406	3,831
低温食品事業	2,127	2,164	4,291	8,044	2,311	2,443	4,754	8,093	1,681	1,472	3,153
加工食品事業	186	133	319	27	△392	△170	△562	△441	△17	△28	△45
冷蔵事業	602	545	1,147	2,274	824	728	1,552	2,822	940	954	1,894
その他事業	331	438	769	815	296	600	896	943	359	475	834
調整額	△155	△355	△510	△848	△26	△310	△336	△1,161	△109	△391	△500
営業利益率	15.9%	15.6%	15.7%	14.9%	14.5%	16.5%	15.5%	16.0%	16.6%	16.8%	16.7%
水産食品事業	3.2%	4.0%	3.6%	2.8%	5.4%	6.0%	5.7%	4.5%	4.5%	7.9%	6.2%
海外即席麺事業	24.5%	25.1%	24.8%	23.7%	22.9%	26.9%	25.0%	25.6%	26.3%	27.4%	26.9%
国内即席麺事業	9.5%	7.9%	8.7%	9.5%	9.0%	6.8%	7.9%	10.0%	9.6%	6.2%	8.0%
低温食品事業	13.9%	13.6%	13.8%	13.4%	14.4%	14.9%	14.6%	13.2%	10.6%	9.0%	9.8%
加工食品事業	3.7%	2.3%	3.0%	0.1%	△7.4%	△3.1%	△5.2%	△1.9%	△0.3%	△0.5%	△0.4%
冷蔵事業	9.8%	8.4%	9.1%	9.0%	12.3%	10.7%	11.5%	10.7%	13.6%	13.3%	13.4%
その他事業	3.5%	4.3%	3.9%	2.2%	2.8%	5.5%	4.2%	2.4%	3.5%	4.5%	4.0%

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

2027年3月期　第２四半期　特別損益等のポイント

TOYO SUISAN

（単位：百万円）

（百万円）	26/3期	27/3期	差異	主な内容
営業利益	39,772	45,825	6,053	
営業外収益	4,317	4,714	397	主に受取利息の増加
営業外費用	306	234	△72	
経常利益	43,784	50,305	6,521	
特別利益				
固定資産売却益	255	114	△141	
投資有価証券売却益	471	66	△405	
補助金収入	18	-	△18	
特別利益合計	745	181	△564	
特別損失				
固定資産除売却損	135	170	35	
減損損失	15	0	△15	
関係会社株式売却損	-	72	72	
その他	3	3	0	
特別損失合計	154	247	93	
税金等調整前中間純利益	44,374	50,239	5,865	
法人税、住民税及び事業税	8,984	8,978	△6	
法人税等調整額	1,792	4,034	2,242	海外即席麺設備投資に伴う繰延税金増加等
法人税等合計	10,777	13,012	2,235	前期：24.3%　　今期：25.9%
中間純利益	33,596	37,226	3,630	
非支配株主に帰属する中間純利益	271	75	△196	
親会社株主に帰属する中間純利益	33,325	37,151	3,826	

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.

当資料取扱い上のご注意

当資料に掲載されている計画、見通しなどのうち、過去の事実以外は将来に関する見通しであり、不確定な要因を含んでおります。

実際の業績は、様々な要因によりこれら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご承知おきください。

当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

COPYRIGHT TOYO SUISAN KAISHA,LTD.,ALL RIGHTS RESERVED.